

## 第六十九回 貴族院 競馬法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

(七九)

昭和十一年五月二十二日(金曜日)午後一時三十五分開會

○委員長(子爵會我祐邦君) 只今カラ昨日ニ引續キマシテ、競馬法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス、御申込ニ依リ

マシテ、高倉子爵ノ發言ヲ許シマス

○子爵高倉篤麿君 私ハ一昨日ノ本委員會ニ於キマシテ、勝馬投票ノ不正賣買ニ付キ

マシテ、警察官吏ノ行爲ニ付キマシテ申述ペマシタガ、ソレハ私ガ實驗ヲ致シタ譯デナク、他人カラ其ノコトヲ聞キマシタノデ

アリマス、果シテサウ云フ事實ガアルカナ

イカ存ジマセヌガ、サウ云フコトモアルト云フ意味ニ於テ私ハ申述ベル積リデアリ

マシタノデスガ、私ノ御話ノ言葉ガ足リマセヌ爲ニ、私ノ意思ヲ申述ベタカノヤウニ御聽取リデシタカト思ヒマスルノデ、此ノ點訂正ヲ致シテ置キタイト存ジマス、ソレカラ立チマシタ序デニ、先日チヨット質問ヲ落シマシタコトガ一件ゴザイマスノデ、此ノ際申述ベタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵會我祐邦君) 宜シウゴザイマス

○子爵高倉篤麿君 ソレハ速記ヲ止メテ戴キタイノデアリマス

○委員長(子爵會我祐邦君) ソレヂヤ速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(子爵會我祐邦君) 速記ヲ始メテ

○丸山鶴吉君 私ノ御質問申上げタイコト

ハ社會事業ノ關係ガ主デアリマスカラ、内務省ニモ關聯ガゴザイマスガ、内務省ノ政

府委員ノ誰モ御列席ガナイヤウデスガ一應……

○委員長(子爵會我祐邦君) 内務省ノ政府委員ガ來ラレマスカ一應聞イテ來テ下サイ、暫ク御待チヲ願ヒマス

○丸山鶴吉君 ソレ迄ニ農林當局及陸軍當局ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、本法案ガ議場ニ上程セラレマシタ時ニ土方博士カラモ

御質問ガアリマシタガ、競馬ニ伴ウテ勝馬ノ競馬カラ受ケマス國家ノ或風教上ノ障害

ノ勝馬投票ノ收入ニ依ッテ入ッタモノダカラ、クノダト云フコトニ依リマシテ、幾ラカ其

ノ競馬カラ受ケマス國家ノ或風教上ノ障害ノ影響ノアルコトハ是ハ何人モ認メテ居ル

所デアリマシテ、遂ニ斯クノ如キ質問ガ議場ニ現レルヤウニナツタノデアリマス、併シ

競馬ヲ認メマスコト、又勝馬投票ヲ認メマスコトガ大事ナ馬匹改良ノコトニ役立ツ

云フコトハ又何レノ國ニ於テモ認メラレテ、何レノ國モ此ノ種ノ競馬ガ行ヘレテ居ル現狀デアリマス、先日私ガ本議場ニ於テ質問

申上げマシタ際ニ申述ベマシタヤウニ、歐米各國ニ於キマシテハ此ノ競馬ニ依ル國家

ノ收入ト云フモノヲ社會ノ貧困ノ爲ニ泣イテ居ル氣ノ毒ナ人達ヲ救濟スル費用ニ當テルト云フコトハ、當時ノ農林大臣モ御説明ニナツタヤウニ、殆ド世界ノ通念トナッテ居ルト云フノデアリマスガ、何故ニ競馬ノ收入ヲ

社会事業ノ方ニ使フカト申シマスレバ、斯クノ如キ稍、風教上面白クナイ影響ガアル、其ノ勝馬投票ノ收入ニ依ッテ入ッタモノダカラ、

セメテ其ノ收入ハ貧困ノ爲ニ非常ニ苦ムデ居ル人間達ヲ救濟スル費用ニソレガ出テ行

クノダト云フコトニ依リマシテ、幾ラカ其ノ競馬カラ受ケマス國家ノ或風教上ノ障害

ノ競馬カラ受ケマス國家ノ或風教上ノ障害ノ影響ノアルコトハ是ハ何人モ認メテ居ル

ト云フモノヲ「ジヤスチファイ」シテ居ルト

云フ氣持ガアルヤウニ思フノデアリマス、

殊ニ一日ノ委員會デ會我子爵カラ御質問

ヲ幾ラカソレデ醇化シテ行クノダ、「ジヤスチファイ」スルノニハ其ノ收入ガ兎ニ角負

トナリマシテ、歐米各國ニ於キマシテモ、競馬ニ向ヅテ國家ノ收入ト云フモノヲ社會事業

ニ多分ニ使フヤウニナツテ居ルノデアル、斯

メナケレバナラヌノデアルガ、競馬ノ如キ、

明モアリマシタヤウニ、「フランス」等ニ於キマシテ相當ノ歩合ガ貧困者ノ救濟ノ方ニ行クノハ、決シテ馬匹改良ノ方ガ濟ンデ、其ノ方ニハ金ガ、要ラヌカラト云フノデ社會事業ニ行ツタ譯デヤナインダ、勿論此ノ競馬カラ得ル收入ト云フモノハサウ云フ貧困者ノ方ニ行クト云フ一ツノ觀念ガ是ガ世界ノ通有性ニナツテ居ルノダ、斯ウ云フ説明ヲサレテ居リマスヤウニ私共承知致シテ居ル所ニ依リマシシテモ……、ソコデ幾ラカ競馬ハ、或程度ノ風教上ノ障害ガアルケレドモ、併シ一面ニハ馬匹改良ノ爲ニ必要デアリ、而モ其ノ得タル收入ト云フモノハ、國家ノ貧困者ヲ救フ所ニ行

ト云フモノヲ「ジヤスチファイ」シテ居ルト

云フ氣持ガアルヤウニ思フノデアリマス、

ニナリマシタヤウニ、馬匹改良ノコトガ國防上、非常ニ大切ナモノデアルト云フ觀念ガ基礎認識ノ上デ、之ガ爲ニ非常ナ經費ヲオ出しナツテ努力ヲ遊バサレルコトハ、勿論國家ノ國防上必要ナコトデ、是ハ國民トシテ認

メナケレバナラヌノデアルガ、競馬ノ如キ、

イツ廢メラレルカ分ラナイ、イツ勝馬投票

ヲ禁止サレルカ知レナイト云フ、不安定ノ

材料ノ上ニ立ツノハ面白クナイノデヤナイ

カト云ッタヤウナ意味ノ御質問モアリマシ

タノデアリマスガ、ソコレヲ合セテ考ヘ

マスト、馬匹ノ改良、馬事思想ノ普及ト云

フコトガ國防上寶ニ缺クベカラザルモノデ

アルト云フコトハ、私共十分認定シマス、

サウ致シマスレバ寧ロ其ノ國防上缺クベカ

ラザル馬匹改良、其ノ他ノ事業ト云フモノ

ハ當然堂々ト國費カラ御要求ニナッテ、國費

カラ之ヲ支辨ヲスルコトニサレテ、サウシ

テ風教上ハ面白クナイコトデアルノデアル

ケレドモ、之ヲ認メテ置カナレバナラヌ、

ケレドモソレカラ得タ收入ハセメテモ其ノ

モノヲ國家デ貧困其ノ他ノ事情デ、非常ニ

困ッテ居ル者ヲ救フ爲ニ、其ノ金ガ行クノダ

ト云フコトニ建前ヲ御變ヘニナッタナラバ

宜イノデハナカラウカト、サウ云フ點ニ付

トシテ、其ノ點ヲ承ツテ置キタイト思ヒマ

ス  
○委員長(子爵會我祐邦君) 説明員ニ説明  
ヲサセルコトヲ、御許シヲ得タウゴザイマ  
スガ、宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○委員長(子爵會我祐邦君) ソレデハドウ

御質疑ニ對シマシテ、御許シヲ得マシテ、

私カラ御答ヲ申上ゲタイト存ジマス、仰セ

ノ通り此ノ競馬ト云フモノニ勝馬投票權ノ

發賣ヲ伴ハセテ居リマス、是ハ要スルニ公

衆ノ面前デ馬ヲ眞劍ニ走ラシテ見ル、其ノ

間ニ苟クモ八百長ト云フヤウナコトヲ無カ

ラシムル、サウシテ馬ノ能力検定ヲ行フト

云フ爲ニハ、勝馬投票券ヲ發賣致シマシテ

ノ如キ貧弱ナル費用デハナカノ是ハ十分

ソレヲ兩立サセテ參リマスル爲ニハ、從來

ソレバナラヌ今日ノ狀態デアリマスルノデ、

ケレバナラヌ兩立サセテ參リマスル爲ニハ、從來

ノ如キ貧弱ナル費用デハナカノ是ハ十分

テ行ハレルノガ普通デアリマスノデ、此ノ馬ノ飼養、管理ノ方面カラ申シマスレバ、

必ズシモ利益ハ牛ニ優ラナイ、併シナガラ

矢張リ國防上ノ點カラ見、且既ニ農家經濟

ヘ繰込マレテシマッタ所ノ馬ノ養成飼育ト

云フコトカラ考ヘマスルト、ドウシテモ馬

產地方ノ農家ノ手ヲ煩スヤウニ組織致サナ

出来レバ誠ニ仕合セト思フノデアリマス

ガ、今日ト致シマシテハモウ是以上ニハ已

ムヲ得ナイカト斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマ

ス、其ノ點御了承ヲ願ヒタイト存ジマス

マコトニ參リマセヌ、出來ル限リノ、許ス

限リノ費用ヲバ之ニ注イデ、是ノ生産飼育

ノ如キ貧弱ナル費用デハナカノ是ハ十分

ケレバナラヌ今日ノ狀態デアリマスルノデ、

ケレバナラヌ兩立サセテ參リマスル爲ニハ、從來

ノ如キ貧弱ナル費用デハナカノ是ハ十分

ヅ大體馬ノ事ハ此ノ競馬ノ方デ賄ウ、財務

當局ト交渉致シマスル場合ニ、例ヘバ林政

ノ關係ノコトハ森林收入ヲ以テ充テテ行ク

ト云フ形ニナルノガ、事實ニ於テ誠ニ樂デ

ト云フ形ニナルノガ、事實ニ於テ誠ニ樂デ

アリマスカラ、斯ウ云フ形ニ今日ハナツテ居

ルノデアリマス、御趣旨ノ點ハ私共モ左様ニ

出来レバ誠ニ仕合セト思フノデアリマス

ガ、今日ト致シマシテハモウ是以上ニハ已

ムヲ得ナイカト斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマ

ス、其ノ點御了承ヲ願ヒタイト存ジマス

マコトニ參リマセヌ、出來ル限リノ、許ス

限リノ費用ヲバ之ニ注イデ、是ノ生産飼育

ノ如キ貧弱ナル費用デハナカノ是ハ十分

ケレバナラヌ今日ノ狀態デアリマスルノデ、

ケレバナラヌ兩立サセテ參リマスル爲ニハ、從來

ノ如キ貧弱ナル費用デハナカノ是ハ十分

<p>ラ六百五十萬圓マデ増加ヲ致シテ居ルノデ アリマスガ、併シソレガ社會事業ノ方ニ廻 リマス所ノ金ハ、昭和六年度ニ於テハ五十 萬圓、七年度以降ハ大體毎年百萬圓ト云フ コトニナツテ居ルノデアリマス、收入ガ增加 シナガラ社會事業ニ政府ノ納付金カラ參リ マス金ハ一定不動百萬圓、之ニハ何カ特別 ノ關係ガオアリニナルノデアリマセウカ、 私昨日ノ委員會デ農林當局ノ御意見ヲ承リ マシタラバ、大體百萬圓程度ニ於テ政府 納付金中カラ社會事業ニ出スト云フヤウナ 政府ニ申合ガアツタ申シマスカ、協定ガ アツタ明言サレタカハチヨット明瞭デアリ マセヌガ、サウ云ッタヤウナ趣旨ノ御詰ガゴ ザイマシタノデスガ、内務當局ノ御方ハ其 ノ事ヲ如何ニ御考ヘニナツテ居リマスカ</p>
<p>○政府委員(子爵鍋島直繩君) 詳シイコト ハ他ノ政府委員カラ申上ダマス</p>
<p>○政府委員(山崎巌君) 便宜私カラ御答ヘ 申上ゲマス、救護法ノ制定ハ御承知ノ通り 昭和四年デゴザイマシタケレドモ、國家ノ 財政ノ都合デ段々ト此ノ施行ガ延期サレマ シテ漸ク昭和七年ノ一月一日カラ是ガ施行 ヲ見タノデアリマス、當時ノ經緯ニ付キマ シテハ御承知カト思ヒマスルガ、其ノ財 源ヲ得マスル爲ニ色々ノ工夫ヲ凝ラシマシ</p>
<p>テ財源ノ一部トシマシテ、競馬ヨリ生ジ スル政府納付金ノ中デ大體百萬圓ヲ救護法 ノ財源ノ一部ニ當アルコトニ相成ッタノデ アリマス、大體一箇年ノ救護法ノ經費ハ約 三百萬圓デゴザイマシタガ、其ノ中百萬圓 ダケヲ競馬法ノ財源ニ依ヅテ調達ラスルト 云フ建前ニ相成ッタノデゴザイマス、其ノ後 救護法ハ昭和六年ハ三箇月ノ施行デゴザイ マシテ、施行當初ノ關係上、豫算第一バイ使 フニ至ラナカッタノデゴザイマス、昭和七年 ニ至リマシテモ尙法ノ普及徹底ヲ缺イテ居 リマシタ關係デゴザイマスカ、三百萬圓ノ 豫算ニ相當ノ餘裕ヲ生ジタノデアリマス、 其ノ後昭和八年ニ至リマシテ段々ト農村ノ 疲弊デゴザイマストカ、或ハ災害等ノ關係 モ加ハリマシテ、三百萬圓ノ豫算デハ足ラ ナイ位ノ程度ニ達シテ居ルノデゴザイマ ス、昭和九年、十年モ御承知ノ通リニ三百 万圓ノ豫算ヲ以テシマシテハ、國ノ補 助ガ初メニ豫期サレマシタ二分ノ一ヲ 割ルヤウナ情況ニ相成ッタ居ルノデゴザイ マス、ソレデ他ノ色々ノ財源ヲ調達致シマ シテ、救護法ノ普及徹底ヲ圖ルコトガ極メ テ緊要ニ相成ッテ參リマシタノデアリマス、 然ルニ此ノ競馬法ノ納付金ニ付キマシテハ、 テ競馬法改正ノ當時ニ明瞭ニ内務、 第四部第一二類 競馬法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號 昭和十一年五月二十二日</p>

テ居ヲタ譯ナンデアリマセウカ、其ノ點ヲ一應承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(山崎巖君) 只今モ申上ゲマシ

タヤウニ内務省ト致シマシテハ競馬法、昭和六年ノ競馬法改正當時ノ議會ニ於キマス

ル政府當局ノ色々ノ説明等モアリマシテ、

其ノ後百萬圓以上ニ此ノ方面カラ財源ヲ得ルヤウニ致シマシタコトハナイヤウニ記憶

ヲ致シテ居リマスノデアリマス、唯併シナガラ救護法ノ實施ハ繰返シテ申上ダマスル

ガ、非常ニ現在財源不足ヲ生ジテ居リマス

ノデ、他ノ適當ナ財源ヲ財務當局ト交渉致シマシテ、本年度ハ五十萬圓ノ追加豫算ヲ要求致シテ居リマス、尙併シナガラ此ノ五

十萬圓デモ今後不足ヲ生ズル場合ガ必ズアルヤウニ思ヒマスノデ、其ノ點ニ付キマシテハ更ニサウ云フ場合ガ起リマスレバ、財務當局トモ十分ノ交渉ヲ重ねマシテ、救護法ノ徹底ヲ圖リタイト存ジテ居リマスノデアリマス

○丸山鶴吉君 是モ一つ内務當局トシテノ御意見ヲ承ッテ置キタイト思フノデアリマスガ、先程ノ私ノ質問ニ關聯モ致シテ居ルノデアリマスガ、馬匹改良等ノコトハ國防ニモ關係ガアリマシテ、最モ大切デアルト云フコトハ本員モ十分承知ヲ致シテ居ルノ

ニアリマス、デ私共ノ考トシテハ、サウ云フ國防上大切ナルモノヲ政府納付金ノ財源ニ依ッテ居リマスコトハ、如何ニモ心細イヤウナ感ジガ致シマスノデ、寧ロソレヲ御廢メニナッテ、ソレハ堂々ト外ノ財源ニ基カレルコトガ宜イノデナイカ、又競馬ト云フモ

ノニ勝馬投票ト云フコトヲ認メテ置ク以上ハ、セメテモソレカラ來ル收入ト云フモノハ社會ノ貧困者ヲ救フ爲ニ出ルノダト云フコトニ於テ、多少ソレヲ是認スルコトノ出

來ル氣持モアルノデアリマス、歐米諸國ハ

サウ云フ心持デ競馬收入ヲ多額ニ社會事業ニ投ジテ居リマス所モソコニアルダラウト

思ヒマスカラ、内務當局トシテハ寧ロ競馬收入ハ舉ゲテ社會事業ニ使ツタ方ガ宜イト

御考ヘニナルノデアリマセウカ、又サウ云フ御希望ヲオ持チニナッテ居ルノデアリマ

セウカ、ドウカ、是ハ内務當局ノ立場トシテ一應御伺ヒシテ見タイト思フ

○政府委員(山崎巖君) 御承知ノ通リニ社會事業乃至社會政策方面ノ財源ハ極メテ不足ヲ告ゲテ居リマス状況デゴザイマス、從

トシテ救護法實施ノ爲ニ陣頭ニ立ツテ、可ナ

等デ救護法ノ要求シテ居リマス所ノ救護施設ト云フモノハ、到底完全ニ行ハレルモノデス

ナイト思テ居リマス、先日、本會議デモ申述べマシタヤウニ、全國方面委員諸君ガ主

トシテ救護法實施ノ爲ニ陣頭ニ立ツテ、可ナ

等デ救護法ノ要求シテ居リマス所ノ救護施

設ト云フモノハ、到底完全ニ行ハレルモノデス

○政府委員(山崎巖君) 將來ノ大キナ方針

ニ關スル問題デゴザイマスルカラ、私カラ御答ヘ申上ダマスルコトハ或ハ適當デハナ

イカトモ思ヒマスルガ、一應私共ノ方デ、事務當局トシテ考ヘテ居リマスルコトヲ御參

府納付金ノ如キハ、社會事業方面ニ充テマスル財源トシテハ極メテ適當ナ財源ノ一ツ

スル財源トコトヲ當局トシテハ考ヘテデナイカト云フコトヲ當局トシテハ考ヘテ居ルノデアリマス、唯併シナガラ今回ノ改正ニ依リマスル増額ニ付テハ、一面農林當局カラ詳細御説明ガアツタ思ヒマスルガ、サウ云フ程度ニ於キマシテハ到底、折角ノ

馬政計畫ト云フ大キナ國家的事業ノ財源ニ當テルト云フコトモゴザイマスノデ、旁、

内務省トシマシテハ此ノ案ニ賛成ヲ致シタヤウナ次第デゴザイマス

内務省トシマシテハ此ノ案ニ賛成ヲ致シタ

リマシテ御迷惑ト存ジマスケレドモ、モウ内務省ノ政府委員ノ方ガ御引取ニナル

ヤウデゴザイマスカラ、一應最後ニ内務當局ニ御伺ヒ申上ダマスルコトヲ御迷惑ト存ジマスケレドモ、モウ少シ救護法

ア財源ヲ必ズシモ競馬ノ政府ノ納付金ニ才出来ナイト私ハ信ズルノデアリマスガ、マ

ア財源ヲ必ズシモ競馬ノ政府ノ納付金ニ才

救護法ガ完全圓滿ナル實施ヲ期スルコトガ

出處ナイト私ハ信ズルノデアリマスガ、マ

ア財源ヲ必ズシモ競馬ノ政府ノ納付金ニ才

求メヲ願フト云フコトヲ茲デ主張スル譯デ

ハアリマセヌガ、政府ハ更ニ救護法實施ノ

実施ノ徹底ヲ致シマスヤウニ御努力ヲ願ヒ

何處カラカ財源ヲ求メテ、モウ少シ救護法

実施ノ徹底ヲ致シマスヤウニ御努力ヲ願ヒ

タイト云フ希望デアリマス、之ニ對シテ政

府ハ十分ナル決心ヲ御持チニナッテ、年々歲

ノ費用ヲ増シテ行クト云フ御計畫ヲ御持チ

ニナッテ居リマスカ如何ト云フ點ニ付キマ

シテ、モウ一應御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

法實施ノ費用ガ足リナイ、何トカ増額シテ貰ヒタイト云フヤウナコトヲ年々歲々決議ヲ續ケテ居ルノデアリマス、マア本年ニ於キマシテ追加豫算ニ於テ五十萬圓増額ニナ

考マデニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、御話ノ通り救護法ノ實施ノ情況ハ、非常ニ徹底ヲ缺ク點ガアルノデゴザイマス、現行法其儘ニ致シマシテモ現在ノ三百五十萬圓、今度五十萬圓殖エマシテ三百五十萬圓ニナルノデゴザイマスガ、ソレノミヲ以テシテモ尙不足ヲ生ジマスヤウナ情況ニ相成ツテ居リマス、現行法ノ内容ニ付キマシテモ、救護法ニ付キマシテハ更ニ検討ヲ加フベキ點ガ多少アルノデヤナイカト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマス、過日ノ本會議ニ於キマシテ丸山サンカラ御質問ガゴザイマシタ、殊ニ此ノ救療方面ノ如キハ、救護法トシテハ初メ豫想シマシタ以上ニ徹底ヲ缺イテ居リマスヤウナ點ガアルヤニ思ヘレルノデアリマス、從ヒマシテ現行法ノ徹底ヲ更ニ適當ナル財源ヲ得マシテ圖ルコトハ勿論、更ニ現行法ニモ再検討ヲ加ヘマシテ、一段ト此ノ救護法ノ内容ヲ充實シ、被救護者ノ救護ノ徹底ヲ圖リタイト事務當局ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、本期ノ特別議會終了後ニ於キマシテハ直チニ此ノ方面ノ準備モ多少シタリ、寄リノ事務局ニ於キマシテ協議ヲ今進メテ居リマス所デゴザイマス

○丸山鶴吉君 私ノ内務當局ニ對スル質問へはデ終リマシタカラ、何カ外ノ方デ内務

當局ニ御質問ガゴザイマスレバ、私一時質問ヲ猶豫致シマシテ……

○委員長(子爵會我祐邦君) 丸山君ノ只今ノ内務關係ノ御質問ハ一時打切ラレルト云方ヘ他ノ方ニ行カレルト云フコトデスカラ……

質問ガアリマスレバ、願ヒマス、内務省ノフコトデアリマス、外ノ御方デ内務省ニ御質問ガアリマスレバ、願ヒマス、内務省ノ方ヘ他ノ方ニ行カレルト云フコトノヤウニ思

不確定ノ財源ニ依ラナイデ、外カラ得ラレダケ入ルト致シマスレバ、之ヲ今申上ダマクラドウカ、即チ競馬ニ依ツテ政府納金ガ是スヤウニ、社會事業其ノ他ノ費用ニ振向ケマ

ラ御答辯ヲ戴キマシタノデアリマスガ、御話ノ筋ハ非常ニ明瞭ニ分ッタノデアリマスガ、私ガ申上ゲマシタノハ、馬匹改良其ノ他ノコトハ國防上非常ニ大切デアルナラバ、

ニ存ズル次第デアリマス、競馬法ガ施行サ

レマスル以上ハ、今日ニ於キマシテモ、今日ノ程度ノ競馬ニ於キマシテハ、馬ノ能力ヲ検定イタシマスルノニ、嚴選ヲ保ツト云云フト、是ハ誠ニ不確定ナ財源ト云フコトニ相成リマスノデ、先ヅ大體今日ノ程度ニシタ方ガ確實ナル基礎ニ立ツモノデヤナカラウカ、其ノ點ニ付テ質問ヲ申上ゲタ、サウシテ又競馬カラ入リマス所ノ收入金ト云フモノハ、寧ロ世ノ中ノ氣ノ毒ナ貧困者ノ方ニ行クノダト云フ形ニスルコトニ依ツテ、多少ノ非難ト心配ヲ持タレテ居ル勝馬投票ノ發賣ナンカト云フヤウナコトヲ純理化スルニ便利デヤナカラウカ、其ノ點ニ對スル御意見ヲ承リマシタノデアリマスガ、私ノ話ガ十分徹底シナカッタト思フノデアリマスガ、ソレニ付テ更ニ御意見ヲ承ルコトガ出來レバ仕合セダト存ジマス

○委員長(子爵會我祐邦君) モウ御質問ガノ經費デゴザイマス

○說明員(長瀬貞一君) 只今ノ御尋ニ對シ内務省方面ニナイヤウデゴザイマスカラ、丸山君、ドウゾ農林省ニ對スル御質問ヲ願積リデ居リマスガ、言葉ノ足リマセヌデ恐縮

レマスルノデアリマス、競馬法ガ施行サ

ニ更ニ國庫ノ支出ヲ求メマシテ、之ニ依ツテ

馬政ノ實施ヲ行シテ居ルヤウナ次第デアリ

マス、デ寄邊ナキ人達ヲ救ツテ參リマスル救

第四部第二二類 競馬法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號 昭和十一年五月二十二日 賽馬法院

五

護ト云フ方面ニ對シマシテモ、大體百萬圓程度ノ金ヲ出シテ居ルノデアリマスカラ、モット出シテ所謂罪滅ボシト云フコトニ爲サッテハドウカト云フ御説デアリマスケレドモ、現在ノ所、先程申シマシタヤウニ、相當ニ豊カデナイ農家ヲシテ、國防上ニ適スル所ノ馬ノ生産竝ニ保持フヤラシテ參リマスル爲ニハ、今日迄ノヤウナ程度ノ經費デハナカ／＼完全ニ參ルコトハ困難カト思ヒマスル、從ヒマシテ、今回法律ニ於キマシテ財源ノ確保ト云フ意味デ認メマシタヤウナ譯デアリマス、大體此ノ程度ノモノハ將來ノ馬產ノ確保ト云フ優良馬ノ確保ト云フコトニ付テハ必要デアルマイカト、サウ云フ意味カラスウ云フ規定ヲ致シタ譯デアリマス、一應其ノ程度デ御了承ヲ願ヒマス

○丸山鶴吉君 サウシテ第二次御計畫ニ依リマスト、凡ソ本年既ニ百九十萬圓カラ増加致シマシタノデアリマスガ、計畫ノ年度ノ終リハ能ク存ジマセヌノデスガ、大體本年六百八十六萬三千圓、斯ウ云フ程度デ第二次ノ御計畫ハオ進メニナルト云フ御豫定デゴザイマセウカ

○政府委員(田淵敬治君) 御答ヘ申上ゲマス、馬政第二ノ計畫ハ、計畫年度ハ三十箇年ニナツテ居リマス、ソレデ馬政第二次ノ計畫ノ全體ノ各年度ヲ通ジマシタ計畫ヲ立てるト云フコトハ非常ニ困難ナバカリデナク、將來相當變化ガ總テノ事情ニ於テアルコトヲ豫想致サネバナリマセヌノデ、ソレヲ立テルト云フコトハ、我々事務當局ト致シタ表ニ依リマスト、昭和十一年度ノ馬事關係ノ經費ト申シマスノハ、農林省及大藏省、内務省ヲ合計致シマシテ、六百八十六萬三千一圓トナツテ居リマスガ、是ハ別ニ戴イテ居リマスル新規増加經費百九十一萬二千圓ト云フモノハ、此ノ中ニハ加算ニナツテ居ルノデアリマスカ、如何デアリマセウカ

○丸山鶴吉君 マア了承致シマシタ、數字ニ付テチヨット御伺ヒ致シマスガ、戴キマシタ表ニ依リマスト、昭和十一年度ノ馬事關係ノ經費ト申シマスノハ、農林省及大藏省、内務省ヲ合計致シマシテモ、大キナモノニナリマスノデ、是等財源等ニカニ申上ゲル所ニハ參ツテ居リマセヌ、併シナガラ馬政第二次ノ計畫ノ進ミマスルニ從ヒマシテ、之ニ要シマスル經費ハ非常ニ増加致ス、ト申シマスノハ假ニ種牡馬ノ關係ニ付テ一つノ例トシテ御聽取リヲ願ヒタイ

○丸山鶴吉君 段々長クナツテ恐縮デゴザ

ノデアリマスガ、先達テ此處デ御説明申シマシタヤウニ馬政第二次計畫ニ於キマシテハ、第一次ノ計畫ノ種牡馬千五百頭ヲ國ニ於テ經營ヲ致ス、ト申シマスノハ倍ノ三千頭マス

○丸山鶴吉君 サウシテ第二次御計畫ニ依リマスト、凡ソ本年既ニ百九十萬圓カラ増加致シマシタノデアリマスガ、計畫ノ年度ノ終リハ能ク存ジマセヌノデスガ、大體本年六百八十六萬三千圓、斯ウ云フ程度デ第二次ノ御計畫ハオ進メニナルト云フ御豫定デゴザイマセウカ

○政府委員(田淵敬治君) 御答ヘ申上ゲマス、馬政第二ノ計畫ハ、計畫年度ハ三十箇年ニナツテ居リマス、ソレデ馬政第二次ノ計畫ノ全體ノ各年度ヲ通ジマシタ計畫ヲ立てるト云フコトハ非常ニ困難ナバカリデナク、將來相當變化ガ總テノ事情ニ於テアルコトヲ豫想致サネバナリマセヌノデ、ソレヲ立テルト云フコトハ、我々事務當局ト致シタ表ニ依リマスト、昭和十一年度ノ馬事關係ノ經費ト申シマスノハ、農林省及大藏省、内務省ヲ合計致シマシテ、六百八十六萬三千一圓トナツテ居リマスガ、是ハ別ニ戴イテ居リマスル新規増加經費百九十一萬二千圓ト云フモノハ、此ノ中ニハ加算ニナツテ居ルノデアリマスカ、如何デアリマセウカ

○丸山鶴吉君 マア了承致シマシタ、數字ニ付テチヨット御伺ヒ致シマスガ、戴キマシタ表ニ依リマスト、昭和十一年度ノ馬事關係ノ經費ト申シマスノハ、農林省及大藏省、内務省ヲ合計致シマシテモ、大キナモノニナリマスノデ、是等財源等ニカニ申上ゲル所ニハ參ツテ居リマセヌ、併シナガラ馬政第二次ノ計畫ノ進ミマスルニ從ヒマシテ、之ニ要シマスル經費ハ非常ニ増加致ス、ト申シマスノハ假ニ種牡馬ノ關係ニ付テ一つノ例トシテ御聽取リヲ願ヒタイ

○丸山鶴吉君 段々長クナツテ恐縮デゴザ

ノデアリマスガ、先達テ此處デ御説明申シマシタヤウニ馬政第二次計畫ニ於キマシテハ、第一次ノ計畫ノ種牡馬千五百頭ヲ國ニ於テ經營ヲ致ス、ト申シマスノハ倍ノ三千頭マス

○丸山鶴吉君 サウシテ第二次御計畫ニ依リマスト、凡ソ本年既ニ百九十萬圓カラ増加致シマシタノデアリマスガ、計畫ノ年度ノ終リハ能ク存ジマセヌノデスガ、大體本年六百八十六萬三千圓、斯ウ云フ程度デ第二次ノ御計畫ハオ進メニナルト云フ御豫定デゴザイマセウカ

○政府委員(田淵敬治君) 御答ヘ申上ゲマス、馬政第二ノ計畫ハ、計畫年度ハ三十箇年ニナツテ居リマス、ソレデ馬政第二次ノ計畫ノ全體ノ各年度ヲ通ジマシタ計畫ヲ立てるト云フコトハ非常ニ困難ナバカリデナク、將來相當變化ガ總テノ事情ニ於テアルコトヲ豫想致サネバナリマセヌノデ、ソレヲ立テルト云フコトハ、我々事務當局ト致シタ表ニ依リマスト、昭和十一年度ノ馬事關係ノ經費ト申シマスノハ、農林省及大藏省、内務省ヲ合計致シマシテモ、大キナモノニナリマスノデ、是等財源等ニカニ申上ゲル所ニハ參ツテ居リマセヌ、併シナガラ馬政第二次ノ計畫ノ進ミマスルニ從ヒマシテ、之ニ要シマスル經費ハ非常ニ増加致ス、ト申シマスノハ假ニ種牡馬ノ關係ニ付テ一つノ例トシテ御聽取リヲ願ヒタイ

○丸山鶴吉君 段々長クナツテ恐縮デゴザ

ノデアリマスガ、先達テ此處デ御説明申シマシタヤウニ馬政第二次計畫ニ於キマシテハ、第一次ノ計畫ノ種牡馬千五百頭ヲ國ニ於テ經營ヲ致ス、ト申シマスノハ倍ノ三千頭マス

○丸山鶴吉君 サウシテ第二次御計畫ニ依リマスト、凡ソ本年既ニ百九十萬圓カラ増加致シマシタノデアリマスガ、計畫ノ年度ノ終リハ能ク存ジマセヌノデスガ、大體本年六百八十六萬三千圓、斯ウ云フ程度デ第二次ノ御計畫ハオ進メニナルト云フ御豫定デゴザイマセウカ

○政府委員(田淵敬治君) 御答ヘ申上ゲマス、馬政第二ノ計畫ハ、計畫年度ハ三十箇年ニナツテ居リマス、ソレデ馬政第二次ノ計畫ノ全體ノ各年度ヲ通ジマシタ計畫ヲ立てるト云フコトハ非常ニ困難ナバカリデナク、將來相當變化ガ總テノ事情ニ於テアルコトヲ豫想致サネバナリマセヌノデ、ソレヲ立テルト云フコトハ、我々事務當局ト致シタ表ニ依リマスト、昭和十一年度ノ馬事關係ノ經費ト申シマスノハ、農林省及大藏省、内務省ヲ合計致シマシテモ、大キナモノニナリマスノデ、是等財源等ニカニ申上ゲル所ニハ參ツテ居リマセヌ、併シナガラ馬政第二次ノ計畫ノ進ミマスルニ從ヒマシテ、之ニ要シマスル經費ハ非常ニ増加致ス、ト申シマスノハ假ニ種牡馬ノ關係ニ付テ一つノ例トシテ御聽取リヲ願ヒタイ

○丸山鶴吉君 段々長クナツテ恐縮デゴザ

デアリマスガ、マア要スル所ヘ救護法ヲ實施スル時ニ内務省關係ガ財源ニ困ラレテ、サウシテ競馬法ニ依ル納付金ノ中カラ百萬圓ダケ出シテ吳レト云フ交渉デ、ソレガ慣例ニナツテ、ズット百萬圓ヲ納付金カラソレダカラ先程モ申上ゲマシタヤウニ、此ノ三分ノ一ノ割合デ社會事業ニ出ルト云フナラバ、モウ既ニ昭和九年ニハ百三十萬圓出ナケレバナラヌ、十年ニハ百七十五萬圓ニナラナケレバナラヌ、昭和十一年ニハ二百十九萬圓社會事業ニ出ナケレバナラナイ割合デアリマスガ、依然其ノ割合ハ全ク無視サレテ、百萬圓シカ出テ居ナイ、今度ノ改正ニ依ヅテ日本競馬協會ガ獨占シテヤルシ、又世間一般ノ空氣ヲ見ルト、競馬ニ對スル人氣ガ段々増大シテ居ルカラ、此ノ競馬收入ハ非常ニ増加スルモノト思ヒマス、凡ソ農林省デ推定サレテ居リマスル昭和十二年度ノ收入ハ七百二十二萬四千圓ニナツテ居リマスガ、此ノ豫想ヨリモ増シテ、或ハ八百萬圓、八百五十萬圓ニナルノデハナカラウカト私共豫想スルノデアリマス、然ルニ相變ラズ、社會事業ニ對シテハ百萬圓、今内務當局ノ御意見ヲ承ツテモ、初メガ

タケレドモ、社會事業ノ方ニ百萬圓以上出セト云フ談判ヲシタコトモナク、サウ云フ交渉モシタコトハナイト云フノデアリマスカラ、恐ラク今ノ御方針デ政府ガ進マレル以上ハ、競馬ノ政府納付金ガ千萬圓ニ達シタシテモ、社會事業ニ行クヨリ仕方ガナイト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、比率ノ關係デ申シマスレバ、昭和九年ハ既ニ四百萬圓デアリマシタカラ、其ノ時既ニ四分ノ一シカ社會事業ニ行ツテ居ラナイ、ソレガ殖エテ五百萬圓、六百五十萬圓トナレバ、其ノ比率ハ更ニ四分ノ一ヨリ下ツテ、五分ノ一、或ハ六分ノ一・五ト云フ風ニ比率ハ非常ニ事實上ハ下ツテ居ル、ソレデ私共社會事業關係ノ立場カラ申シマスト、先程來縷々私共主張シテ居ルヤウニ、此ノ競馬ニ依ル政府ノ納付金ト云フモノハ、大部分ヲ社會事業ニ費シタ方ガ觀念トシテ宜イ、而シテ馬匹改良ノ如キ大ナル事ハ、モット本當ニ確實ナル國家ノ財源カラ得ラレル方ガ宜イト云フ主張ヲ持ツテ居リマスケレドモ、政府ノ方針、内務當局ノ御意見ヲ承ツテモ、現在ハ競馬ノ納付金カラ百萬圓ヅツ貰ツテ満足シテ居ルヤウナ狀態デアルカラ、此ノ關係ハ既ニ事實上ハ六分ノ一トナリ、又來年ニナ

リマスレバ、七分ノ一以下ニ比率ハ下ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、現在ノ三分ノ二ヲ下ルコトヲ得ズト云フ規定ニシテオ置キニナリマシテモ、此ノ政府納付金ガ、馬事改良ノ方ニ使ハレマス費用ハ何等影響ハ無イ、一ツモ變りハナイノデアリマシテ、現ニ實際ノ比率ハ昭和十一年ニ於テハ社會事業ノ方ハ六・五分ノ一、即チ其位低下ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、事實チヨットモ御差支ハナイコトヲ、何故然ニ法律ノ明文ノ上デ、今マデハ形トシテハ三分ノ一使ヘルヤウニナッテ居タモノヲ、今度ハ四分ノ一シカ社會事業ニハ使ヘヌノダト云フ形ヲ御示シニナル必要ハナイデハナイカト思ヒマスガ、何故ノ必要ガアリマシテ、特ニ此ノ改正ニ當リマシテ、其ノ比率ヲオ下ゲニナル御提案ニナッタカ、此ノ點ヲ明瞭ニ一ツ御答辯ヲ願ヒマス

トニナリマスルト、是ハ一般カラ見マシテ、  
政府ノ方針ガサウ云フ風ニ變ツタノデハナ  
イカト云フ風ナ考ヘ方カラ見フレルコトモ  
アリマセウシ、又今回ノ納付金率ノ増額  
ガ、馬政ノ關係ニ於テ事實使用サレルノデ  
アリマスカラ、其ノ納付金率ガ百分ノ六カ  
ラ八ニ上リマシタ、其ノ上リマシタ金額ダ  
ケノ部分ヲ、社會事業ノ方ニ參リマスモノ  
ト、馬ノ方ニ參リマスモノトニ付テ訂正ヲ  
致シテ置クト云フコトガ、大體ニ於テ計數  
カラ申シマシテモ、サウ云フコトニナリマ  
スノデ、其ノ改正ヲシテ置クノガ適當デア  
ル、斯様ニ考ヘマシテ、馬政調査會ノ答申  
モ左様ナ次第ニナッテ居リマスカラ、變ヘタ  
次第デアリマス

タコトデハナイノデアリマスガ、兎ニ角現  
内閣ハ庶政一新ヲ標榜セラレテ居ルノデア  
リマス、庶政一新ノ目標ハ何デアルカト申  
セバ、要スルニ國民ノ生活安定ト云フコト  
ガ結論ニ出テ來ルデアラウト思フ、既ニ救  
護法ガ實施セラレテ、サウシテ貧困ニシテ  
生活ヲ支ヘルコトノ出來ナイ人間ガ、斯ウ  
云フ時節柄非常ニ殖エテ來テ居ルノデアリ  
マスカラ、苟モ社會事業ニ携ハル者ガ集會  
ヲ致シマスレバ、常ニ社會事業ニ對スル國  
家ノ經費ガ乏シイ、殊ニ公ニ費用ヲ要スル  
救護法ノ實施ニ對シテスラ、僅カニ三二・一七  
〔パーセント〕シカ實際ニ救助ノ手ガ届イテ  
居ラヌト云フノデ、社會事業ニ對シテ投ズ  
ル費用ノ薄イコトヲ非常ニ歎息シテ居ル時、  
ドウシテモサウ云フ貧困者、其ノ所ヲ得ナ  
イ者ヲ救護スルト云フコトハ、殊ニ斯ウ云  
フ時勢ニ於キマシテ、非常ニ必要ナ際デア  
ルト私共ハ考ヘルノデアリマス、サウ云フ  
際ニ、實際何モ影響ノナイコトデ、馬事思  
想ノ普及ニ費ス所ノ費用ニ何等影響ノナイ  
コトデアルノニ、特ニ馬事ノ方ニハ四分ノ一  
三ヲ使フノダ、社會事業ノ方ハ四分ノ一ニ  
スルノダ、今マデノ三分ノ二ト、三分ノ一  
ノ比例ヲ、今度ハ四分ノ三ト、四分ノ一ノ

比例ノ變ヘルノダト云フコトヘ、實質上何等影響ノナイノニ御變ヘニナルト云フコトハ、現内閣ノ大キク掲ゲラレテ居ル庶政一新、即チ國民生活ノ安定ト云フコトノ原則カラ言ヅテモ、私ハ面白クナイコトデヤナイカト思フ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノニアリマシテ、今ノ御話デ納付金ガ增加シタカラ率ヲ下ゲナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナリマシタコトニ付テ、チヨット今ノ説明デハ了承ガ出來ナイノデアリマスガ、モウ一度其ノ點ニ付テ了解ノ行クヤウニ御説明願ヒタイ

係ガアリマス場合ニ於テ、此ノ競馬ヲ行ヒ、  
第一次計畫ヲ實行スルト云フコトニ付テ、  
政府委員ガ申上ゲル通り將來ノ第一次計畫  
ヲ實行スル場合ノ費用ト云フモノハ、相當  
大キナモノガ要ルノデアリマス、然ルニ此  
ノ財源ト云フモノヲ今日ノ我ガ國ノ狀態力  
ヲ考ヘマシテ、外ニ其ノ財源ヲ求メルト云  
フコトガ非常ニ困難ナノデアリマスガ、ソレ  
ハモウ其ノ以上私ガ申上ゲル必要ハナイト  
御諒察ヲ願ヘルト思フノデアリマスガ、非  
常ニ困難ナ事情デアル、從テ國防關係ノ方  
面カラモ、又農林關係ノ方面カラ致シマシ  
テモ、此ノ競馬ニ依ツテ得ル納付金ハ、出來  
レバ其ノ金額ヲ擧ゲテ馬事ノ方ニ費シテ尙  
足ラナイト云フコトヲ惧レテ居ルト云フヤ  
ウナ狀態デアリマス、其ノ以外ノ財源ト云  
フコトニナリマスト、ナカヽ是ハ其ノ方  
ニ向ツテ得ルト云フコトハ出來惡イノデア  
リマス、ノミナラズ只今ノ情況カラ申シマシ  
テモ、現ニ陸軍ノ方デ要求シテ居ラレル馬ト、  
サウシテ農村ニ使ヒマス馬トノ間ニハ事實  
ニ於テ馬格ト言ヒマスカ、サウ云フ關係ニ  
於テ違フ所ガアツタリ致シマシテ、農民ガ現  
在養ツテ居ル此ノ方ノ關係カラ、馬ハ農家ノ

シテ居ル上ニ、此ノ馬ノ關係カラ餘分ナ負擔ヲスルト云フヤウナ關係モアリマシテ、ナ議論モ出テ居ルト云フ事情デアリマスニ拘ラズ、此ノ財源ヲ他ニ仰グト云フ、他ニ求ムルト云フコトハナカヽ困難デアリマスニス、是ト寧ロ反シテト云フ言葉ハ言葉ノ使ヒ方ハ適當デナイカモ知レマセヌガ、救護ノ方面ノ事業ニ付キマシテハ、是ハ求メ得ルナラバ此ノ事業其ノモノガ御話ノヤウナ次第デアリマスカラ、社會事業殊ニ救護ノ事ニ關シマシテハ、是ハ各方面カラ財源ヲ得ルト云フコトハ、又競馬ニ依ラナイデモ得ルコトノ出來ル事情ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、ソコデ競馬ノ方面ノ勝馬投票ノ關係カラ來ル納付金ヲ以テ、其ノ方へ當テルト云フコトハ寧ロ内務省ト内部ニ約束シテ居ルトカ、話合ガ出來テ居ルト云フ、百萬圓ト云フモノヲ之ヲ勝馬投票政府納付金ノ中カラ、ソレダケノモノヲ、百萬圓ダケハ下ラナイヤウニ確保スル、救護法ノ實施ニ伴フ社會事業ノ方面ノ財源ニ是ダケヲ確保スル、斯ウ云フ意味ニ出來テ居ルノデアッテ、ソコデ是ガ救護法トノ關係力致シマシテ、或ハ將來更ニ陸軍、農林各

關係方面ト約束又協議ヲ致シマシテ、其ノ財源トシテ百萬圓ヲ下ラナイヤウニ差出ス  
ト云フコトニ付テハ是ハ又他日或ハ問題  
ガ起ルカモ知レナイト思フノデアリマスガ、  
此ノ建前カラ申シマスト云フト、全部ヲ馬  
事關係ノ方カラ言ヒマスレバ、陸軍ノ方ニシ  
マシテモ、農林省トシマシテモ、悉ク此ノ  
馬ノ方ニ使ヒタイ、馬カラ言ヘバ馬ノ方ニ  
使ヒタイ、斯ウ云フヤウナ希望カラ出發シ  
テ、併シ此ノ方ニ現ニ社會事業ノ爲ニ必要  
ナ經費ヲ出スト、斯ウ云フコトガ現ニ明カ  
ニ掲ゲテアルカラシテ、其ノ程度ニ付テド  
レダケヲスルカト云フ其ノ話合ガ百萬圓ト  
云フコトニナツタト云フ内情デアリ、事實ガ  
サウナツテ今日マデ來テ居ルト云フコトハ、  
是ハ私ヨリモ寧ロ丸山サン自身ノ方ガ能ク  
御承知デアラウト思フノデアリマス、サウ  
云フ意味デアリマシテ、ソコデ此ノ三分ノ  
二ヲ四分ノ三ト云フコトニ改メルト云フコ  
トハ、私ノ承ッテ居ル所ニ依リマスレバ、左  
様ナ事情カラシテ馬政調査會ニ於テモ、特  
ニ其ノ點ニ歩合ヲ上ゲルト云フ時ニ、直グ  
ソレニ引續イテ從來ノ三分ノ二ヲ、四分ノ三  
ヲ下ラナイト云フコトニ改ムベキ意味ノ意  
見ヲ明瞭ニソコヘ上ゲテ、之ヲ答申ニ現サ

レタト云フ事情ガ、ソコニ私ハ意味ガアル  
ヤウニ考ヘテ居リマシテ、ソレデ此ノ原案  
ノ四分ノ三トスルト云フコトヘ、馬事ノ方  
ノ關係カラ言ヒマスト、是ハ已ムナキモノ  
デアル、デ競馬ノ方ノ財源ヘ、此處ヲ假ニ  
三分ノ二以上トアルカラ、下ラザルト云フ  
ノデアルカラ、幾ラデモ使ヘルデハナイカ  
ト云フ御説モアリマスケレドモ、馬ノ關係  
ノ方面トシマシテヘ、此ノ軍部アタリト致  
シマシテモ、矢張リ其ノ點ニ非常ニ重キヲ  
置イテ其ノ原案ガ出來タモノデアル、斯様  
ニ考ヘテ居ルノデアリマズガ、是ハ或ハ言ハ  
ズモガナノヤウナコトデアルカモ知レヌト  
思ヒマスケレドモ、表面ノ形ガ、收入ガ殖エ  
ルノニ歩合ガ減タト云フコトヘ、社會事業  
ヲ輕ンズルノ嫌ヒガアルデハナイカ、斯  
ウ云フ表面ノ御議論ヲ聽クト云フト其ノ通  
リニ聞エルノデアリマシテ、ソレハ一應御  
尤ト思フノデアリマスガ、馬ノ關係カラ言ツ  
テ馬ノ方カラ得タ金ヲ百萬圓ツ社會事業  
ノ方ニ費スト云フコトニナツタ、其ノ方カラ  
申シマスト云フト、決シテ輕ンズルトカ、  
或ハソレヲ少クスルトカ云フ精神デハナイ、  
若シ出來レバ將來、或ハソレヲ殖スコトガ  
出來ルナラバ殖スト云フヤウナ意味ノコト  
ハ、寧ロ考ヘラレルカモ知レスノデアリマ

スケレドモ、ソコヲドウゾ一ツ御了承ヲ願ツ  
テ置キタイト思フノデアリマス  
○政府委員（子爵立見豊丸君）チヨヅト私  
モ此ノ際一口申サシテ戴キタイト思ヒマス、  
丸山委員ガ、今マデ社會事業ニ三分ノ一ヲ  
使ッタノヲ、今度四分ノ一ニ減シタ、デ大變  
社會事業ノ方ヲ輕視シテ、馬事ノ方ニバカ  
リ金ヲ使フト云フ風ニ御考ヘニナッテ居ル  
ヤウデゴザイマスガ、其ノ三分ノ一トカ、  
四分ノ一トカ申シマスノハ、其ノ基礎ガ違  
フノデゴザイマス、現行法ニ三分ノ一ト申  
シマスノハ、御承知ノ通リ政府納付金ノ百  
分ノ六ノ三分ノ一デアリマシテ、全體カラ  
云フト百分ノ二ヲ社會事業ニ使ッテ、他ノ百  
分ノ四ヲ馬事施設ニ使フ、斯ウ云フコトニ  
ナツテ居リマス、ソレカラ此ノ度ノ改正法ニ  
於テハ、政府納付金ガ百分ノ八ニ變リマシ  
タ、百分ノ八ノ四分ノ三ヲ馬事ノ方ニ使ヒ  
マシテ、百分ノ八ノ四分ノ一、即チ百分ノ  
二ヲ社會事業ノ方ニ使ヒマスノデ、社會事  
業ノ方ニ使ヒマス金ヲ決シテ減シタ譯デハ  
ゴザイマセヌ、元々通リノ比率デ社會事業  
ノ方ニ行クノデアリマシテ、社會事業ヲ決  
シテ輕視シタモノデナイト云フコトヲ御了  
承ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙此ノ馬事施設  
ニ使ヒマス費用ノ内、其ノ大部分ハ馬產地

デアル所ノ貧困ナル農山村ノ方ニ廻シマス  
ノデ、是ハ派手ナ社會事業費ノヤウナ風ニ  
行キマセヌガ、矢張リ窮乏セル農村ノ保護  
助成ト云フ方ニ多大ノ貢獻ヲ致シテ居ルノ  
デアリマスルカラ、附ケ加ヘテ申上ゲテ置  
キマス

ノ本質カラ行キマシテ、無論勝馬投票ヲヤルコトハ馬匹改良ニ必要デアルト云フコトニナレバ、勝馬投票ト云フコトニ全然反対スル譯デモ何デモナイノデアリマス、デ折角ソレカラ得ルモノヲ以テ、諸外國デモ社會事業ノ方ニドンヽ使ッテ行クト云フノハドウ云フコトカト言ヘバ、馬匹改良ノ爲ニハ勝馬投票券ヲ賣ルコトガ必要ダ、ダカラ多少或ハ賭博心ヲ唆ツタリ、色々ナ社會風教上害ガアルケレドモ、マア勝馬投票ヲヤルヨリ外ニ此ノ馬匹改良ニハナラヌノダト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマス、セメテソレカラ上ル收入ヲ社會ノ貧困者ノ爲ニ使ツテ居ルノダト云フコトデ、世間ニ對シテセメテモノ一ツノ言譯ニナツテ居ルト云フ、マア町田農林大臣ノ言ハレルヤウニ世界ノ通念ダト言ハレル、ソレデアルカラ現在大臣ノ言ハレル如ク外ニ馬匹改良ノ財源ガ無イノダカラ、此ノ競馬ニ依ル收入ト云フモノハ大部分使ヒタイ、ソレハ其ノ立場モ私ハ了承スルノデアリマスガ、マア私共ノ主張カラ言ヘバ少クモ此ノ半分ナリ半分以上ト云フモノハ、社會事業ニ取ルト云フコトニ於テ、競馬ニ勝馬投票ヲ許シテアルノダト云フヤウナコトヲ、社會ガマアイヤ／＼ナガラ認識ヲシテ吳レルト云

フコトニ役立ツコトニナル、ダカラ先達テ  
以來土方博士ノ御質問ノアリマスヤウナ議  
論モ、獨リ土方博士ノ議論デナシニ、相當  
トダト云フコトヲ言ツテ居ル者モアリマス、  
私ハ競馬ト云フコトニハ全ク素人デ、能ク  
存ジマセヌケレドモ實際軍隊國防カラ要求  
サレルヤウナ馬ハ、今ノ競馬ノ「システム」  
デハ出來ヌノダト思フ、此ノ間高倉子爵ノ  
御質問ノ一端モソコニ觸レラレマシタケレ  
ドモ、マア競馬ノ本質ニ付テハ、私素人デ  
アリマスカラ何等存ジマセヌケレドモ、世  
界的ノ通念トシテソレガ社會事業ニ使ハレ  
ルト云フコトニ依ツテ幾ラカ社會風教上害  
ガアツチモ、マア其ノ利益ガ極ク純粹ノサウ  
云フコトニ使ハレルト云フコトニ於テ、マ  
ア許シテ置イテモ仕方ガナイノダト云フ氣  
持ガアルノダカラ、私共ノ立場カラ言ヘバ  
寧ロドウセ今迄デモ足ラナイデ、外カラ財  
源ヲオ求メニナツテ居ツタカラ、ソレダケノ  
大事ナ國防的見地カラ來ル馬事ト云フコト  
ハ、寧ロ是ハ外ニ入ル收入ガ餘計アレバ、  
ソレダケ國庫モ餘裕ガ出來ルノデアリマス  
カラ、其ノ方カラ財源ヲオ求メニナツテ、マ  
ア此ノ方ハ社會事業ニ使ウンダ、斯ウ云フ  
コトデ、マア半分ナリ社會事業ニ使ウンダ

ト云フコトデ、勝馬投票ニ對スル非難ニ對スル多少言譯ニナルノダ、ソレダカラ諸外國ハ皆之ヲヤツテ居ルノダト云フノデアリマス、サウ云フ見地ノ立場カラ此ノ今度ノ改正案ヲ批判ヲ致シマスト、折角率ガ上ッテ收入ガ殖エテ、事實ハ百萬圓入ッテ居リマスカラ、實際問題ニハナラヌケレドモ、兎ニ角收入ガ殖エルコトニナツタカラ、今日マデノ三分ノ一ヲ四分ノ一ニ減スノダト云フコトニナレバ、如何ニモ矢張リ此ノ社會事業ガ是ダケ緊切ヲ加ヘテ來テ居ル社會事業ト云フモノガ輕ンゼラレテ、サウシテ馬モ勿論大切デアリマスケレドモ、馬ノ方ニドンドン行クンダ、斯ウ云フコトヲ法律ノ改正ニ於テ明示サレルコトハ、少クトモ社會事業ニ關係シテ居ル斯ウ云フコトニ敏感ナル人間ニハ、兎ニ角社會事業ヲ非常ニ蔑視スル政府ノ態度デハナイカト云フコトヲ感ゼシムル所以デアル、デアルカラソレヲ強イテ、實質上、何等影響ノナイカト云フコトデアリマスカラ、強イテ此ノ率ニ手ヲオ加ヘニナラナクテモ、現ニ此ノ儘ニシテモ其ノ率ハ六分ノ一、來年ニナレバ七分ノ一ニモ足リナイ數字シカ、社會事業ニ行ツテ居ラヌト云フコトハ現實デアリマスカラ、現實ニ何等影響ガナインラバ、此ノ率ダケニ手ヲオ加

ヘニナラヌ方ガ宜イヂヤナカラウカ、斯ウ云フコトデアリマシテ、大體只今ノ御説明デ了承致シマシタケレドモ、其ノ點ニ付テハドウ御考ヘニナリマスカ、モウ一度一つ御考ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(島田俊雄君) 丸山君ノ御意見  
ハ誠ニ御尤ト思ヒマスガ、繰返シテ申スコトハモウ致シマセスガ、日本ノ事情カラ申シマスト、外國ノヤウナ譯ニハ行キ兼ネルト考ヘマスノハ、此ノ馬ニ關係スルコトニ付テ……、マア外ノコトモサウ云フ工合ガ多イノデアリマスガ、馬ニ關係シマシテハ御承知ノヤウニ日本ノ狀態ハ非常ナ貧弱ナ事情デアッタノガ、第一次ノ馬政計畫ノ結果今日ノ情況ニナリ、サウシテ其ノ競馬ノヤリ方モ茲デ一ツノ革新ヲ加ヘテ、統制アルモノニシヨウト云フ程度ニヤット進歩シテ、是カラ第二次ノ計畫ヲヤリマシテ、更ニ國情ニ即スルヤウニ之ヲ導イテ行カウト云フ狀態デアリマシテ、是ガマア外國ト云ツテモ、無論國々ノ別々ガアリマシテ、一々ノコトハ私固ヨリ素人デ申サレマセヌケレドモ、諸外國ノ事情ト云ヒマスト、馬ニ關シテハ兎ニ角他ノ諸國ハ皆先進ノ立場ニ立ツテ、相當馬ニ關スル事柄ガ進歩致シテ居リマス、頭數ハ……馬ノ頭數ト云フコトニ付テハ、

是ハ色々國ニ依ツテ達ヒマスケレドモ、馬事ニ關スル進歩ノ状態ト云フモノハ、是ハ日本ハマダ非常ニ進歩中ニアルモノデアツテ、之ヲ外國ノ成熟シタ馬事ノ情況ト比較スルコトハ、餘程困難ナ状態デアル、從テ其ノ馬券ノ賣出シ、斯ウ云フモノニ付テ外國デハ之ヲ社會事業等ニ多ク使フ、フンダンニ使ツテモ宜イト云フヤウナ事情ニマデ發達ヲシテ居ルノデアリマスルガ、我ガ國ノ方ハドウシテモ未ダ馬事思想ト云フモノハ普及シテ居リマセヌ爲ニ、馬ノ數モ少イシ、及シテ居リマセヌ爲ニ、馬ノ數モ少イシ、馬ニ關スル知識モ少イ、從テ之ニ關スル経費ト云フモノノ出途ニ付テハ、ドウモ素人考デ、私共ナドモ尙サウデアリマスガ、普通ニ考ヘテ、競馬ヲヤレバ直グ賭博トカ、金持ノ道樂仕事ダトカ、斯ウ云フ風ニ考ヘル人ガ多イト云フダケガ日本ガ進歩シテ居ラナイ、進歩シテ居ラヌカラ、ドウモ其ノ財源ヲ他ニ求ムルト云フコトガ、非常ニ困難ナ事情ガアル、左様ナ關係カラシテ結局此ノ馬ニ關スルモノカラ得タ收入ヲ、全部舉ゲテ尙足リナイト云フ位ナ氣持デ、此ノ馬ノ方ノ關係者ハ考ヘテ居ルデアラウト思フノデアリマシテ、是ハ外國トノ比較論トカ、何トカ云フコトニ付テ意見ヲ挾ムデ議論ヲ申上ゲル譯デアリマセヌガ、丸

山君ノ御述ベニナリマシタ御趣旨ハ能ク了承致シマシタケレドモ、左様ナ事情デアリマシテ、詰リ馬ノ方ノ關係ガ收入ノ原因ノ大キイ元ニナル、今日ノ率ヲ上ゲルト云フコトモ矢張リソコカラ來テ居ルノデアリマスガ、ソレヲ強ク申シマスルト、馬貴キカ人貴キカト云フヤウナ議論ニ行ク處ガアリ人貴キカト云フヤウナ議論ニ行ク處ガアリマスノデ、政府トシテハソコデ餘リ吹聴スルコトヲ差控ヘテ居ル次第デアリマスガ、ハドウシテモ未ダ馬事思想ト云フモノハ普事實ハ左様ナ出發點カラ來テ居ル次第デアリマス、ソコデ形ノ上カラ三分ノ二トシテアツテモ四分ノ二トシテアツテモ、以上ト云フノデアルカラシテ、多ク使ヘバ使ヘルヂヤナイカ、形ノ良イヤウニシテ置イタラドウカト云フ御議論ハ、御議論トシテハ承ツテ居リマスケレドモ、實地ニヤル方ノ側トシマシテハ、ドウモ此ノ原案ノヤウナ形ヲ執ッテ行クコトガ安心ダ、ソレガ此ノ馬事ノ方ニ付テ、私ハ今日ハ申シマセヌ、唯陸軍が要求スルヤウナ馬ガ、競馬ノ結果トシテ日本ノ總テノ陸軍ノ計畫ノ中ニ最モ不安定、心配デアルト云フコトヲ申シマシタコトニ付テ、私ハ今日ハ申シマセヌ、唯陸軍出來テ居リマスカ、言換ヘレバ競馬ヲスルニ付テ財源ヲ保障スル所以ダト云フ風ニ、此ノ關係者ノ方面デハドウシテモサウ云フ風ニ考ヘル次第デアリマス、唯ソレヲシタニ喰込ムト云フ形ニナツテハイカナイト云フニシテ居リマス、唯ソレヲシタニ喰込ムト云フ形ニナツテハイカナイト云フノデ、ソコハ少クモ本會議デ申上ゲマシトニ付テ、私ハ今日ハ申シマセヌ、唯陸軍為ニ出來テ居ル馬ガ、陸軍ノ要求スル所ノ軍馬トシテノ性能ヲ發揮シテ居ルカ、是ヘ不十分デアラウト云フコトハ知ジテ居リマスガ、私ノ承リタイノハ、其ノ改良ノ結果多少ナリトモ割合ガ植エテ行キ居ルカ、即チ陸軍スケレドモ、更ニ將來ノコトヲ言ヘバ、ソ

コニマダ四分ノ三ト百萬圓トノ間ニハ、見込ノ方カラ言ヒマスト相當餘裕ガアルノデアルカ、陸軍ノ要求スル馬ハ即チ三通りアルト思ヒマス、乘馬ノ、即チ騎兵ノ乗リマス馬、砲兵ノ馬或ヘ輜重兵ノ馬、斯ウ云フヤウニ分ケラレテ居リマス、其ノ意味ニゾ繰返シテ申スヤウデアリマスケレドモ御了承ヲ戴キタイト思ヒマス

○丸山鶴吉君 見方ノ相違デゴザイマスカ、幾ラ御尋ネシテ居リマシテモ、ソレ以上ナイト思ヒマス、私ハ質問ヲ打切リマス上ナイト思ヒマス、私ハ質問ヲ打切リマス近ノナニノ御説明ヲチヨット参考ニ承ツテ置キタイト思ヒマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 私チヨット陸軍ノ方ノ政府委員ニ御尋ネシタインデス、私先達テ申シマシタガ、此ノコトハ或ハ不

安定ノ基礎ノ上ニ、大事ナル陸軍ノ國防計畫ヲ形ヅクラレルト云フコトハ、如何ニモ御許シヲ得テ居リマスカラ、許シマス

○政府委員(子爵立見豐丸君) 說明員ヲシテ説明サセマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 說明員ハ昨日御許シヲ得テ居リマスカラ、許シマス

○説明員(吉田眞君) 現在競馬ニ出走シテ居リマス馬ノ狀態ハ、其ノ儘採ツテ軍馬トスル爲ニハ満足スルヤウナ狀態デゴザイマセヌ、是ハ先達テ此處デ御説明申上ゲマシタヤウニ軍馬ノ購買竝ニ競馬出走馬ト云フモノガ、購買以外ノ出走馬ト云フモノガ、

軍馬ノ格ヲ持ツテ居ルト云フコトハ非常ニ必要ナ事柄デアリマス、今後第二次計畫ヲ遂行シマス爲ニモ、是非共競馬馬ヲ、是ハ特殊ノ改良ノ原種トシテ使フ一部ノ馬ニ於

マシテ、農林當局トモ協議シマシテ、サウ云フ方面ニ對シテ逐次改良ヲ加ヘテ行ク必要ガアルコト考ヘテ居リマス、デアリマスガ、今日マデト雖モ競馬ノ隆昌ニ件ヒマシテ、一般ノ馬産家ガ競馬出走馬ヲ得ムトシテ努力スル結果、之ニ附隨シテ乗馬ノ購買ト云フモノガ在來ニ比シテ非常ニ容易ニナツタト云フコトハ申上ゲルコトガ出来マス、尙合格ノ率ト云フ點デアリマスガ、持ツテ參リマシタ馬ヲ採ルノハ、陸軍自體ノ平時編成ニ要スル馬ダケヲ採ルノデアリマスカラ、從來ドレダケアツカ、今日ハドレダケ率ガ高マツタト云フコトハ、明瞭ニ申上ゲルコトハ困難デアルト思ヒマス、事變前ニ於キマス大體ノ狀態ヲ申上ゲマスト、大體幼駒ニ於キマシテ、二歳デアリマスガ幼駒ニ於キマシテ、軍馬ニ買ツテ貰ハウト思ツテ持ツテ參リマシタ馬ノ内ノ約半分、五十〔プロ〕位ハ先ヅ合格ト見ラレマス、更ニ合格ノ中デ之ヲ甲乙丙内ノ三種ニ分ケテ居リマシテ、甲ハ先ヅ保管馬トシテ優良ナモノ、乙ハ輓馬トシテ十分能力アルモノ、丙ハ要數ノ關係上已ムヲ得ナケレバ採ラウト云フ風ナ合格ト認メテ居リマスガ、程度ノ悪イ

モノノデアリマス、合格五十「プロ」内甲ガ  
概ネ十「プロ」、乙ガ二十「プロ」、丙ガ矢張  
リ二十「プロ」ト云フ位ナ比率ニナッテ居リ  
マス、實際ニ購買官ガ保管馬トシテ、軍馬  
トシテ買ヒマスノハ、甲ノ十「プロ」、乙ノ約  
半分ノ十「プロ」、總數ノ約二十「プロ」内外ヲ  
買フ、斯ウ云フ狀態デアリマス、是ハ事變  
前ニ於キマシテ數年間ノ統計カラ推算シタ  
モノデアリマシテ、事變以後ニ於キマシテ  
ハ、滿洲部隊ノ改編ガ頻リニ行ハレマス爲  
ニ、牡馬購買ヲ著シク殖シテ居リマス爲ニ、  
比率ニ相當ナ變化ガアリマス、尙ホ壯馬ニ  
於キマシテハ、今ノハ二歳幼駒デアリマス  
ガ五歳乃至六歳ノ壯馬購買モヤッテ居リマ  
ス、是ハ不合格ガ概ネ三十「プロ」デアリマス、  
後七十「プロ」ガ不合格、合格ノ内甲ニ屬ス  
ルモノガ約五「プロ」、乙ニ屬スルモノガ十  
「プロ」、丙ガ十五「プロ」、此ノ甲乙ノ中カラ  
概ネ約十「プロ」ヲ買ッテ居ル、斯ウ云フ狀態  
デゴザイマス。

スガ、從來ノ現行法ノ競馬法ニ於キマシテ  
ハ、競馬ヲ行ヒマスコトガ出來ルモノ  
ヘ、馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ヲ圖ル  
コトヲ目的トシテ居ル民法第三十四條ノ法  
人ニ限ルトナッテ居ル譯デアリマス、今度  
デアリマセヌ、民法三十四條ノ規定ニ依リ  
マス法人デハゴザイマセヌデ、此ノ改正法  
ニ依リマシテ認メラレタル法人デゴザイマ  
スノデ、ソレデ民法三十四條云々ト云フコ  
トガ入ッテ居ラナイ次第デゴザイマス  
○男爵關義壽君 サウスルト是ヘ法人デアッ  
テ、又私設法人、ト云ッテハ變デスガ私法人  
ト云フノデアリマスカ、ドウ云フ風ニナリ  
マスカ

○政府委員(田淵敬治君) 法人ノ性質論ニ  
付キマシテハ、極ク正確ナル所ヘ、司法省  
方面ノ政府委員ノ御説明ヲ請フノガ當然カ  
ト思ヒマスガ、立案ノ際其ノ他法制局ニ於  
ケル審議ノ際ナンカニ於キマシテ色々議論  
サレタモノデゴザイマスカラ、私カラ申上  
ゲルコトノ御許シヲ願ヒタイト思ヒマスガ、  
今回ノ此ノ日本競馬會ハ、法人ノ性質カラ  
申セバ是ハ私法人デアルガ、其ノ法人ノ行  
フ事業其ノ他ノ點ニ付キマシテ、公法人的  
色彩ノ非常ニ強イ私法人デアルト云フ風ニ

○男爵關義壽君 第八條ノ第一項ノ、新シイ法案ノ此ノ準備資金ノ最高額ト云フモノハ、今決ツテ居ルノデアリマスカ、又此ノ法律ガ出來上ッテカラ 調査會デヤルノデアリマスカ

○政府委員(田淵敬治君) 此ノ準備資金ノ最高額ハ、適當ナ時期ニ政府方規定ヲ以テ定メルゾデゴザイマス、現在ニ於キマシテハ各競馬俱樂部、マダ設備ノ整ヒツ、アリマスモノ、或ハ辛フジテ設備ガ出來マシタモノ、設備ハ造リマシタガマダ其ノ設備ヲ造リマシタ爲ニ負債ヲ持ッテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマシテ、今直ニ其ノ準備金ノ最高額ニ達スルト云フ風ナ關係ニ在ルモノハ勿論ナイノデアリマスガ、將來競馬施行ニ依ツテ段々ト此ノ邊ガ改善サレテ參ルコトニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 皆サンニ御相談致シマスルガ、只今カラ三十分間休憩致シタウゴザイマス

午後三時四十九分開會

テ懇談會ニ入リマス、ドウゾ御腹臓ナイ所ノ御意見ヲ願ヒマス

〔午後三時五十一分懇談會ニ移ル〕

〔午後四時十三分懇談會ヲ終ル〕

○委員長（子爵曾我祐邦君） ソレデハ唯今カラ引續キマシテ始メルコトニ致シマス、松村サンカラ御通告ガゴザイマシタガ、段御議論モ盡キタヤウデアリマスカラ、討論ニ入ラウト思ッテ居リマスガ、若シ御意見ナリ御質問ナリガ、ゴザイマスナラバ此ノ際願ヒマス

○松村眞一郎君 私ハ他ノ委員會ノ方ニ出席シテ居リマシテ、此ノ方ノ委員會ノ色々皆サン方ノ御話ヲ承ル機會ガ少カッタコトヲ非常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマスガ、私ハ此ノ競馬法ト云フモノニ付テ政府ニ運用上ノ御方針ヲ希望致シタイノデアリマス、ソレハ此ノ競馬法ト云フ法律ヲ見マスト云フト、馬券所謂勝馬投票券ノコトガ殆ド全部、サウシマスレバ競馬法ヲ讀ム人ハ其ノ中デ何ヲ教ヘラレルカト申シマスト、所謂馬券購入ノ規定トカ、ドノ位ナ金額ガ配當サレルカト云フヤウナ規定ガ非常ニ綿密ニ書イテアル、罰則ト云ツテモ矢張リ馬券ニ關スル罰則、サウ致シマスト極ク素人的ニ見レバ……自分ハ玄人ト云フ譯デヤアリマセヌ

ガ、唯極ク素直ニ見マスト、競馬法ト云フケレドモ是ハ馬券法デアルト云フコトニ誰カラ引續キマシテ始メルコトニ致シマス、松村サンカラ御通告ガゴザイマシタガ、段御議論モ盡キタヤウデアリマスカラ、討論ニ入ラウト思ッテ居リマスガ、若シ御意見ナリ御質問ナリガ、ゴザイマスナラバ此ノ際願ヒマス

○松村眞一郎君 私ハ他ノ委員會ノ方ニ出席シテ居リマシテ、此ノ方ノ委員會ノ色々皆サン方ノ御話ヲ承ル機會ガ少カッタコトヲ非常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマスガ、私ハ此ノ競馬法ト云フモノニ付テ政府ニ運用上ノ御方針ヲ希望致シタイノデアリマス、ソレハ此ノ競馬法ト云フ法律ヲ見マスト云フト、馬券問題ニナツテ來ル、競馬法即チ馬ニ付テノ非難トカ攻撃トカ云フ問題ニ集注シテ、馬券問題ニナツテ來ル、競馬法即チ馬券法ト云フヤウニ考ヘテ居ラレル所ニ私ハ色々ナ議論ガ起ツテ來ル、デヤナイカト思ヒマスガ、ソレハ政府ノ方モ法律ノ立テ方ガ宜クナイデヤナイカト思フノデアリマス、外ノ國デアレバ馬券法ト云フ思想デ出來テ居ル、「イギリス」デ言ヘバ「ベッティング・アクト」ト云フコトニナツテ居ル、斯ウ云フヤウナ規定デ賭事法ト云フ名前デ書イテアル、ソレデ競馬ヲ何ノ爲ニスルカト云フ本質的ノレコトハ是カラ教ハラナイ譯デス、元來競馬ト云フモノガ茲ニアツテ是ガ特別ノ使命ヲ云フモノガ茲ニアツテ是ガ特別ノ使命ヲ云フヤウナ具合ニ指導サレルコトガ私ハ必要ト思フ、サウナルト云フト、競馬規定ト云フヤウナ規定ガ非常ニ綿密ニ書イテアル、罰則ト云ツテモ矢張リ馬券ニ關スル罰則、サウ致シマスト極ク素人的ニ見レバ……自分ハ玄人ト云フ譯デヤアリマセヌ

能力検定ト云フコトノ思想カラ來テ居リマス 能力検定ヲ機會トシテ馬券ヲ賣ルト云ケレドモ是ハ馬券法デアルト云フコトニ誰カラ引續キマシテ始メルコトニ致シマス、松村サンカラ御通告ガゴザイマシタガ、段御議論モ盡キタヤウデアリマスカラ、討論ニ入ラウト思ッテ居リマスガ、若シ御意見ナリ御質問ナリガ、ゴザイマスナラバ此ノ際願ヒマス

○松村眞一郎君 私ハ他ノ委員會ノ方ニ出席シテ居リマシテ、此ノ方ノ委員會ノ色々皆サン方ノ御話ヲ承ル機會ガ少カッタコトヲ非常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマスガ、私ハ此ノ競馬法ト云フモノニ付テ政府ニ運用上ノ御方針ヲ希望致シタイノデアリマス、ソレハ此ノ競馬法ト云フ法律ヲ見マスト云フト、馬券問題ニナツテ來ル、競馬法即チ馬ニ付テノ非難トカ攻撃トカ云フ問題ニ集注シテ、馬券問題ニナツテ來ル、競馬法即チ馬券法ト云フヤウニ考ヘテ居ラレル所ニ私ハ色々ナ議論ガ起ツテ來ル、デヤナイカト思ヒマスガ、ソレハ政府ノ方モ法律ノ立テ方ガ宜クナイデヤナイカト思フノデアリマス、外ノ國デアレバ馬券法ト云フ思想デ出來テ居ル、「イギリス」デ言ヘバ「ベッティング・アクト」ト云フコトニナツテ居ル、斯ウ云フヤウナ規定デ賭事法ト云フ名前デ書イテアル、ソレデ競馬ヲ何ノ爲ニスルカト云フ本質的ノレコトハ是カラ教ハラナイ譯デス、元來競馬ト云フモノガ茲ニアツテ是ガ特別ノ使命ヲ云フモノガ茲ニアツテ是ガ特別ノ使命ヲ云フヤウナ規定ガ非常ニ綿密ニ書イテアル、罰則ト云ツテモ矢張リ馬券ニ關スル罰則、サウ致シマスト極ク素人的ニ見レバ……自分ハ玄人ト云フ譯デヤアリマセヌ

ス 能力検定ヲ機會トシテ馬券ヲ賣ルト云ケレドモ是ハ馬券法デアルト云フコトニ誰カラ引續キマシテ始メルコトニ致シマス、松村サンカラ御通告ガゴザイマシタガ、段御議論モ盡キタヤウデアリマスカラ、討論ニ入ラウト思ッテ居リマスガ、若シ御意見ナリ御質問ナリガ、ゴザイマスナラバ此ノ際願ヒマス

○松村眞一郎君 私ハ他ノ委員會ノ方ニ出席シテ居リマシテ、此ノ方ノ委員會ノ色々皆サン方ノ御話ヲ承ル機會ガ少カッタコトヲ非常ニ遺憾ニ考ヘルノデアリマスガ、私ハ此ノ競馬法ト云フモノニ付テ政府ニ運用上ノ御方針ヲ希望致シタイノデアリマス、ソレハ此ノ競馬法ト云フ法律ヲ見マスト云フト、馬券問題ニナツテ來ル、競馬法即チ馬ニ付テノ非難トカ攻撃トカ云フ問題ニ集注シテ、馬券問題ニナツテ來ル、競馬法即チ馬券法ト云フヤウニ考ヘテ居ラレル所ニ私ハ色々ナ議論ガ起ツテ來ル、デヤナイカト思ヒマスガ、ソレハ政府ノ方モ法律ノ立テ方ガ宜クナイデヤナイカト思フノデアリマス、外ノ國デアレバ馬券法ト云フ思想デ出來テ居ル、「イギリス」デ言ヘバ「ベッティング・アクト」ト云フコトニナツテ居ル、斯ウ云フヤウナ規定デ賭事法ト云フ名前デ書イテアル、ソレデ競馬ヲ何ノ爲ニスルカト云フ本質的ノレコトハ是カラ教ハラナイ譯デス、元來競馬ト云フモノガ茲ニアツテ是ガ特別ノ使命ヲ云フモノガ茲ニアツテ是ガ特別ノ使命ヲ云フヤウナ規定ガ非常ニ綿密ニ書イテアル、罰則ト云ツテモ矢張リ馬券ニ關スル罰則、サウ致シマスト極ク素人的ニ見レバ……自分ハ玄人ト云フ譯デヤアリマセヌ

居ル競馬ト云フモノノ中ニハ馬券ノコトシカ書イテナイト云フト、本當ノ競馬ノ意義ニ付テノ理解ガ世間ニ行ハレルコトガナイデヤナイカト思フノデアリマス、ソレ故ニ何カ競馬法ノ問題ガ起ルト云フト、直グ競馬ニ付テノ非難トカ攻撃トカ云フ問題ニ集注シテ、馬券問題ニナツテ來ル、競馬法即チ馬ニ付テノ非難トカ攻撃トカ云フ問題ニ集注シテ、馬券問題ニナツテ來ル、競馬法即チ馬券法ト云フヤウニ考ヘテ居ラレル所ニ私ハ色々ナ議論ガ起ツテ來ル、デヤナイカト思ヒマスガ、ソレハ政府ノ方モ法律ノ立テ方ガ宜クナイデヤナイカト思フノデアリマス、外ノ國デアレバ馬券法ト云フ思想デ出來テ居ル、「イギリス」デ言ヘバ「ベッティング・アクト」ト云フコトニナツテ居ル、斯ウ云フヤウナ規定デ賭事法ト云フ名前デ書イテアル、ソレデ競馬ヲ何ノ爲ニスルカト云フ本質的ノレコトハ是カラ教ハラナイ譯デス、元來競馬ト云フモノガ茲ニアツテ是ガ特別ノ使命ヲ云フモノガ茲ニアツテ是ガ特別ノ使命ヲ云フヤウナ規定ガ非常ニ綿密ニ書イテアル、罰則ト云ツテモ矢張リ馬券ニ關スル罰則、サウ致シマスト極ク素人的ニ見レバ……自分ハ玄人ト云フ譯デヤアリマセヌ

カニシタモノヲ使フト云フコトニスレバ競馬ノ意義ガハッキリンテ來ル、從來ノ政府ノヤリ方ハドウカト云フト、種馬ノ資格アリヤ否ヤト云フコトノ検定ヲ何處デサレルカト云フト、種馬育成所ト云フヤウナ所デヤツチ居ツタ、其處ニ競馬場トマデ行カナイガ、馬場ガアツテ、其處デ非常ナ練習ヲシテ、其處デ能力ノ検定ヲサレテ居ル、ソレハ内々ノ検定デアツテ世間ニ分ラナイ、サウ云フヤウナ次第デアリマスカラ、政府ノ種馬ト雖モ競馬場ニ於テ能力ヲ茲ニ明瞭ニ發揮シテ、民間ノ種馬トノ間ノ優劣ヲ茲ニハッキリシタモノヲ種馬ニ採用スルト云フヤウナ施設ニナルコトヲ、私ハ必要デアルト思ヒマス、ソレハ馬券ノ關係ガアリマスカラ、ソレニ付テノ適當ノ考慮ハ要ルデセウガ、併シナガヲ馬ノ競走ニ伴フ色々ノ馬券ノ施設ニ付テ、品ノ悪イヤウナコトガ伴フ、或ハ騎手ガ八百長ヲヤルトカ云フヤウナコトガアル、政府ノ何程度ノ改良ハ私ハ出來ルト思フ、民間ニ於テモ競馬ニ出シタ馬ハ、其ノ成績ノ如何ニ依ツテ政府ガ種馬ニ購入スルト云フヤウナコトナドガ世間ニ分レバ、其ノ事ヲモウ少シ力ヲ入レテ爲サレバ、競馬ノ本質的ノ意

義ガ茲ニハツキリシテ來ル、現在ノヤウナ  
法制デアルト政府ノ納付金ヲ得ルガ爲ニ馬  
券ヲ賣ツテ居ルト云フヤウニ思ハレル、是ハ  
餘程考ヘナケレバナラヌ問題デヤナイカト  
思フ、私ハ斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデ  
ス、其ノ馬ノ競走ト云フヤウナコトニナリ  
マスト動モスルト八百長ガ行ハレマスカラ  
衆人環視ノ上デ、八百長ガ起ツタナラバ何  
人ト雖モソレヲ承知シナイト云フ緊張裡ニ  
置イテ馬ヲ走ラセテ居ツカラ、本當ノ能力ノ  
検定ガ出來ル譯デアリマスカラ、競馬ニ於  
テ或程度懸ケ金ヲ認メテ居ルト云フ趣旨ハ  
其ノ邊ニアルノデハナイカト思フ、其ノ金  
額ヲ多クシテ見タリ枚數制限ヲ撤廢スルト  
カ、ソレハ色々議論カアリマスケレドモ、  
併シナガラソコニ風教ヲ害シナイト云フ程  
度ノ考慮ヲ拂ハナイト、是ハ賭博ヲ獎勵ス  
ルト思フ、賭博ヲ獎勵スルト云フヤウナ事  
情ニナツテ來ル譯デアリマスカラ、サウ云フ  
意味デナク眞剣ナ馬ノ競走ガ行ハレル爲ニ  
必要ナル程度ノ、何カ茲ニ政策ガナクチヤ  
イカヌ、若シ或程度ノ賭ケト云フヤウナモ  
ノガナイトドウ云フ現象ニナルカト云フト、  
茲ニ馬ノ競走ガアツテ、サウシテ八百長ヲヤッ  
テ、ドレガ勝タウガドレガ負ケヨウガ、之  
ヲ見テ居ル一般公衆ハ利害關係ガナイ、デ

スカラ格別緊張ヲ感ジナイカラ眞面目ノ  
ルト、僅カノ金デアッテモ懸ケテ居ル人ハ非  
常ニソコニ緊張味ヲ感ズルカラ、八百長ガ  
行ハレルト承知シナイ、ソコデ僅カノ金デ  
モ懸ケサシテ居ルト云フコトハ衆人ガソコ  
ニ非常ナ緊張味ヲ以テ眺メル、競争スル者  
ハ亦緊張スルト云フコトノ作用ガアル、又  
馬券ノ發賣ト云フ意義ガソコニアルノデハ  
ナイカト思フ、デソンナヤウナコトデアリ  
マスカラ本體デアル競馬其ノモノノ意義ヲ、  
農林省ノ方デモウ少シ世間ニハッキリ分ル  
ヤウニサレルト同時ニ、農林省ノ方デ競馬  
ヲ本體的ニ利用サレル必要ガアルト思ヒマ  
ス、即チ一番適切ナコトヲ言ヘバ、種馬ノ  
供用ト競馬ニ於ケル能力検定トノ關係ヲモ  
ウ少シ密接ニ爲サル必要ガナルト思フ、民  
間デ種馬ヲ持ッテ居ル場合、或程度競馬ノ賞  
金稼ギト云フ弊害モアリマセウガ、併シナ  
ガラ或年齢ニナリマスト競馬ニ適セナイ、  
其ノ後始末ヲ考ヘテヤラナケレバナラヌ、  
サウ云フ譯デ矢張リ政府トシテ種馬検定ノ  
一つノ手段トシテ競馬ヲ眺メルコトガ私ハ  
必要ダト思フ、ソレト同時ニ私ノ只今申シ  
馬ト拮抗シテ、日本全體ノ試験ヲ受ケタト

種馬育成所ダケデ走ラセテ置イテ種付ヲサレ  
テ居ルケレドモ、ドウ云フ能力ヲ持ツテ居  
カ世間ハ知ラナイ、一旦競馬ニ走ッタモノハ  
成績ガ出ル、ドノ位ノ距離ヲ走ッテドノ位ノ  
能力ヲ持ツテ居ルカ分ル、ソレハ政府ガ育成  
所ニ於テノ成績ヲ發表サレルノモ宜イカト  
思フガ、今日發表サレテ居ルカドウカ存ジ  
マセヌガ……ソレヲ發表サレテ居リマスカ、  
チヨット一應伺ヒタイ

研究中デアリマスガ、斯ウ云フヤウナ方面モヤツテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、現ニ本年ナンカモ國有馬ニ致シマスノニ、相當競馬場ノ方ヘ照會ラ致思フ馬ヘ賣ルコトヲ欲シナイヤウナ狀態デ、マシテ買上ゲタノデアリマスガ、ナカシタ、併シサウ云フ事實ニナツテ居ル、種馬デ競馬カラ入ッタモノガ相當頭數現在居リマス、ソレカラ育成所デ色々訓練ラシマシテ競馬ニ似タヤウナ調教ラヤツテ居ル譯デアリマスガ、其ノ成績ハ一般ニハマダ發表致シテ居リマセヌガ、併シ隠シテ居ル譯デニアリマセヌカラ、御言葉ノヤウナ點モ將來執務上参考ニシテ行キタイト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

ソレニ對シテ或種付ノ料金ヲ決メテ居ル、民間ノ馬デアベ競馬ニ走ラセテ「レコ一ド」ハ分ッテ居ル、其ノモノトノ種付料ノ比較ニシテモ分ラナイ、民間ニ於テハ競馬ニ付テ馬ヲ買フ人ハ、隨分高イ種付料ヲ出シテ居ルヤウデス、或牧場ナドハ其ノ種付料デ非常ナ收入ヲ得テ居ルヤウニモ思ハレル、ソレハ矢張リ能力ガ検定サレルカラサウ云フコトガ言ヘル譯デ、ソレニ對シテ政府ノ種馬ガ如何ナル能力ヲ有ッテ居ルカト云フコトヲ示サナイデ茲ニ配當サレテモ、供用サレル者ハ自分ノモノガ良イノダカドウカ分ラナイ、サウシテ政府ガ買ハレル場合ニ於テハ「イギリス」ニ於ケル競馬ノ「レコード」ナドヲ見テ買ッテ來ラレマスケレドモ、其ノ後ドウダカ分ラナイ、其ノ父ハサウデアツカモ知レナイケレドモ、其ノ子供ハドウダカ分ラナイ、其ノ三代モ四代モ經テカラ供用サレテ居ル場合ニ、色々ノ馬ニ付テノ登録制度ハアリマスケレドモ、血統ダケノ登録ヲ見テモ能力ハ既ニ無クナッテ居ルカモ知レナイ、サウ云フコトヲ明瞭ニ世間ニ示サナイデ、政府ダケデ自己ノ持テ居ル種馬ハ良イノダト云フヤウナ、自分免許ノヤウナ制度ハ、自分ハ適セナイト思テノデアリマスカラ、明瞭ニ示サレタラ宜

力ヲデスネ……、ソレカラ其ノ次ニ私ガ考ヘマスノハ、納付金ノ問題デス、是ハ今度ノ第九條ニ於テ、勝馬投票券ノ賣得金ノ中カラ、日本競馬會ガ收入スル賣得歩合金ト云フモノト、ソレカラ政府ニ納付スペキ金額トノ其ノ合計ハ、賣得金額ノ百分ノ十五ヲ超ユルコトヲ得ズト云フ規定ガ第九條ニ入ツテ居ル、此ノ規定ハ元省令ニアッタモノヲ、法律ニ擧ゲラレテ居ル、ソレデアリマスカラ、凡ソ競馬デ馬券ヲ買ッタ人ハ、百分ノ十五ト云フモノハコ、デ天引サレル譯デアル、其ノ百分ノ十五ノ用途如何ト云フコトヲ餘程考ヘナケレバイカヌト思フ、所ガ此ノ百分ノ十五ハドウナツテ居ツタカト申シマスト、當初競馬法ガ施行サレタ際、大正十二年頃ニ於キマシテハ、百分ノ十五ノ中百分ノ一ダヶラ政府ニ納付シテ居ツタ譯デアル、其ノ百分ノ一ノ行方ハ政府ハ大抵馬ニ使ツテ居ツタコトニナリマセウ、其ノ金額ハ格別大キナモノデアリマセヌカラ……、所ガ其ノ残リノ百分ノ十四ト云フモノハ勿論全部馬ニ使ツテ居ツタ譯デアリマスガ、ソレヲ俱樂部ガ馬ニ使ツテ居ツタ、ソレガ極メテ有效適切ニ馬ノ改良増殖、馬事思想ノ普及ノ爲ニ使ハレテ居ツタカト云フト、勿論使

レテ居ッタト思ヒマスガ、併シ共ノ中ノ多クノ部分ハ、私ガ想像スルノニ、競馬俱樂部ガ今日相當ノ馬場ヲ建設スルコトニナツテ居ルガ、元陸軍省デ馬券ノ發賣ヲ許サナカッタ場合ノ競馬規定ニ依ッテ、各競馬場ノ設備補助ト云フモノヲ隨分續ケテ居ラレタ、其ノ政府ノ設備補助ノ金が完全ナル馬場ヲ作ルダケノ金ハ到底ナイ、ソレデ此ノ百分ノ十四ノ中カラ競馬俱樂部ハ色々ノ設備ヲシテ、今日隨分良イ競馬場ガ出來テ居ルヤウデス、東京ヲ見テモ横濱ヲ見テモサウデセウ、私ハ餘リ地方ノモノハ見マセヌガ、東京ヲ初メテ此ノ間見ニ行キマシタガ、ソンナヤウナ程度デ東京ハ出來テ居ル、中山モ私ハ一回見マシタガ中々良い、京都ノ如キハ知リマセヌガ、相當ニ良イ設備ヲ此ノ百分ノ十四ノ中カラヤッタノダラウト思フ、其ノ設備ガ出來タ後ニ於キマシテ、今度ハ日本競馬會ト云フモノニ移ル譯デアリマスガ、此ノ競馬ヲ行ッテ居ル法人ハ公益法人デアッテ、馬ノ改良増殖及ビ馬事思想ノ普及ヲ目的トル法人ニ代フルニ日本競馬會ト云フモノヲオ作リニナツタ譯デアリマスカラ、此ノ公益法人ニ代フルニ日本競馬會ト云フモノヲノ十四ハ全部馬ノ改良増殖ニ使ヘレテ居ツ

タト云フ事實現象ガアル譯デアル、ソレガ  
ドウ云フ程度ニ於テ有效適切ニ使ハレテ居ッ  
タカ存ジマセヌガ、先ヅ有效適切ニ使ハレ  
テ居ッタモノト見テ宜カラウ、ソコデ賣得  
金ノ百分ノ十五ト云フモノノ政府ト民間ノ  
競馬俱樂部詰リ私ノ施設トノ間ノ區分ニ關  
シテ、政府ノ態度ヲ見マスト云フト、民間  
ニ對シテ百分ノ十四全部ヲ使ハセテ置クト  
云フコトヨリモ、其ノ中ノ或ル部分ヲ政府  
ノ方ニ移シテ、サウシテ自ラ使ッタ方ガ宜  
イト云フ思想ガ茲ニ出テ來テ、段々金ヲ殖  
シタヤウデアリマス、サウスルト、ドウナッ  
テ來タカト云フト、百分ノ十五ノ中デ最初  
ハ政府ハ百分ノ一ダケ納付金トシテ取ツテ  
居ッタ、即チ一番初メハ百分ノ十四ヲ俱樂部  
デ取り、政府ガ百分ノ一取ツテ居ッタノデア  
ルガ、ソレガ百分ノ六ニナック、其ノ百分ノ  
六ニナル際ニ、今度ハ社會事業ニ對スル施  
設ニ金ヲ出スト云フコトガ茲ニ起ツテ來タ、  
ヲ百分ノ六ニシタ、即チ民間ノ俱樂部デ百  
分ノ二ト云フモノヲ使ツテ居ッタノヲ政府  
ノ方ニ百分ノ二ヲ移シテ、其ノ中三分ノ一  
以下ヲ社會事業ニ提供スルコトヲ得ト云フ  
コトニサレタ、社會事業ニ提供スルナラバ、  
私ハ其ノ定額ヲハッキリ御書キニナッタ方ガ

宜イト思フ、百分ノ二ト云フモノヲ民間デ  
使ツテ居ッタモノヲ政府デ使フコトニシタ、  
併シナガラ政府デ全部使フコトニスレバ、  
馬ニ使フ金ハ同ジデアルカラソコニ別ニ問  
題ハナイ、其ノ中デ政府ニ移スノヲ機會ト  
シテ、或モノヲ社會事業ニ移スト云フコト  
ニシタラ、其ノ當時ハ陸軍省ハ非常ニ主張  
ガ強カツタ、馬ニ全部使フベキデハナイカ、  
民間ニ使フベキモノヲ政府ニヤッタコトヲ  
機會トシテ、其ノ中ノ一部ヲ社會事業ニ使  
フコトハ不都合デハナイカト云フ議論ガ其  
ノ當時非常ニ強カツタ、併シサウ云フ譯デ政  
府ニ移ス機會ニ一部分ヲ社會事業ニ提供シ  
ヨウト云フコトデ、ソコニ三分ノ一ト云フ  
コトガソコニアッタ譯デス、其ノ三分ノ一ト  
云フノハ百分ノ六ノ三分ノ一、即チ百分ノ  
二ノ中デ社會事業ニ提供シヨウト云フノ  
デ、三分ノ一ト云フコトニナッタノデ、其ノ  
當時ノ百分ノ二ト云フノハ、民間カラ政府  
ニ移ス其ノ中デアルコトニシタ譯デス、ソレ  
ガ法律ニ「三分ノ一」ト書イテアルモノダカ  
ラ、今度改正スル場合ニ、今ノ同ジ思想カ  
ラセナイコトニシテ、政府ガ國營デヤルト  
施設カラ見ルト云フト、民間ニ成ルベクヤ  
ウニ私ハ思フ、サウ致シマスト百分ノ十五  
ノ中百分ノ八マデ政府ニ取ツテシマフト云  
云フヤウナ思想ニ段々轉換シテ來テ居ルヤ  
ラ申シマシテ、今度ハ百分ノ八ニシタ、民  
間ニ百分ノ二ヲ使ツテ居ッタモノヲ政府ニ今  
度移シタ、デスカラ百分ノ二ト云フモノヲ  
コトハ、納付金ノ、勝馬投票券ノ百分ノ  
五ノ過半數ト云フモノヲ政府ノ方ニ取ツテ

題デアリマス、其ノ問題ノ際ニ、社會事業  
ニ御關係ノ方ガ、ドウモ金ガ減ルデヤナシ  
カト云フ思想ガ響ク如キ法文ノ書キ方ヲシ  
シテ、或モノヲ社會事業ニ書キ方ヲシテ居  
シテ、或モノヲ社會事業ニ書キ方ヲシテ居  
ニ誤解ヲ招カシテ、ソシテ社會事業ニ御盡  
カトガ私ハイケナイト思フ、非常ニ世間  
シテ、或モノヲ社會事業ニ書キ方ヲシテ居  
シテ、或モノヲ社會事業ニ書キ方ヲシテ居  
ニシタラ、其ノ當時ハ陸軍省ハ非常ニ主張  
ガ強カツタ、馬ニ全部使フベキデハナイカ、  
民間ニ使フベキモノヲ政府ニヤッタコトヲ  
機會トシテ、其ノ中ノ一部ヲ社會事業ニ使  
フコトハ不都合デハナイカト云フ議論ガ其  
ノ當時非常ニ強カツタ、併シサウ云フ譯デ政  
府ニ移ス機會ニ一部分ヲ社會事業ニ提供シ  
ヨウト云フコトデ、ソコニ三分ノ一ト云フ  
コトガソコニアッタ譯デス、其ノ三分ノ一ト  
云フノハ百分ノ六ノ三分ノ一、即チ百分ノ  
二ノ中デ社會事業ニ提供シヨウト云フノ  
デ、三分ノ一ト云フコトニナッタノデ、其ノ  
當時ノ百分ノ二ト云フノハ、民間カラ政府  
ニ移ス其ノ中デアルコトニシタ譯デス、ソレ  
ガ法律ニ「三分ノ一」ト書イテアルモノダカ  
ラ、今度改正スル場合ニ、今ノ同ジ思想カ  
ラセナイコトニシテ、政府ガ國營デヤルト  
施設カラ見ルト云フト、民間ニ成ルベクヤ  
ウニ私ハ思フ、サウ致シマスト百分ノ十五  
ノ中百分ノ八マデ政府ニ取ツテシマフト云  
云フヤウナ思想ニ段々轉換シテ來テ居ルヤ  
ラ申シマシテ、今度ハ百分ノ八ニシタ、民  
間ニ百分ノ二ヲ使ツテ居ッタモノヲ政府ニ今  
度移シタ、デスカラ百分ノ二ト云フモノヲ  
コトハ、納付金ノ、勝馬投票券ノ百分ノ  
五ノ過半數ト云フモノヲ政府ノ方ニ取ツテ

シマフト云フト、馬ノ改良増殖ノ施設ハ、  
政府ノ方ニ於テヤルト云フコトガ、段々茲  
ニ濃厚ニナツテ居ルト云フコトヲ示シテ居  
ルコトニナリマスカラ、サウナルト、私ハ  
競馬ニ關スル或物の施設ト云フモノハ、政  
府ガヤルベキ筈デヤナイカト私ハ思フ、今  
日茲ニ日本競馬會ト云フヤウナモノヲ作  
リニナリマスケレドモ、ソレハ勝馬投票券  
ノ賣得ノヤウナ仕事ダケヲサセテ置イテ、  
馬場ニ於テノ色々ナ設備ト云フヤウナモノ  
ヲ國有ニ移シテシマッテ、寧ロ百分ノ八ト云  
フモノノ割當ヲ、モット政府ノ方ニ移シテ、  
例ヘバ百分ノ八ヲ百分ノ十ニシテモ宜カラ  
ウト思フ、其ノ十即チ民間カラノ二ヲ政府  
ニ移スコトヲ機會トシテ、物的設備ト云フ  
モノハ政府ノ方ニ於テ完備スルト云フコト  
ニシテシマッタ方ガ宜カラウト思フ、物的設  
備ヲ政府ガ完備スルト云フコトニナリマス  
ト、先程申シマシタ國有馬ノ検定ノ如キモ  
ト、政府施設ノ檢定所デ検定スルコトニナリ、  
其ノ間ニ於テ何等弊害ハナイト思フ、競馬  
ト云フモノガ國防上必要デアルト云フコト  
云フト、馬券ト云フモノヲ政府ガ經營スル  
云フト、馬券ト云フモノヲ政府ガ經營スル  
ト云フコトガ今日ノ建前上私ハイカヌカラ

ト思フ、ダカラ競馬ノ設備ト云フモノ、及び競馬ノ開催、馬ヲ走ラセルカト云フコト、如何ナル馬ヲ走ラセルカト云フコトヘ、政府が總テヤツテ宜カラウト思フ、ソレニ伴テ横テ勝馬投票券ヲ賣ッタリ買ッタリスルコトハ、之へ政府ガ自己ノ政府事業トシテヤルダケノ價値ガナイノデアリマス、今日ノ競馬法ト云フヤウナコトニ書イテアルコトハ、之へ民間ガ全部ヤルガ宜イト私ヘ思フ、サウ云フ立テ方ニ於テ御眺メニナラヌト云フト、馬ノ能力検定上、即チ馬ヲ競ハセルト云フ事ソレ自身ガ非常ニ大切ナコトデアルト云フ觀念ガ餘程薄弱ニナルノデアリスカラ、此ノ點ヘ餘程御考慮が必要デアリマス、其ノ意味カラ日本ノ競馬界ノ前途ト云フコト御考ニナル必要ガアラウト思ヒマス、日本競馬會ト云フモノヲ作ッテ見テ、茲ニ既設ノ何カ競馬ノ俱樂部ノ綜合的ナモノガ出來ルノデアリマスナラバ、是ハ唯綜合シタト云フダケノ意味デアッテ、機關ノ整備ニハナツタカモ知レマセヌケレドモ、ト思フ、出來テナイト思フ、今言ツタヤウニ物的設備ヲ政府ニ移シテ、サウシテ堅實ニ競馬其ノモノヲ行フト云フコトニナラナイト云フト、茲ニ十分ナ施設が出來ナイノデ

ト思フ、ダカラ競馬ノ設備ト云フモノ、及如何ナル馬ヲ走ラセルカト云フコト、政府が總テヤツテ宜カラウト思フ、ソレニ伴テ横テ勝馬投票券ヲ賣ッタリ買ッタリスルコトハ、之へ政府ガ自己ノ政府事業トシテヤルダケノ價値ガナイノデアリマス、今日ノ競馬法ト云フヤウナコトニ書イテアルコトハ、之へ民間ガ全部ヤルガ宜イト私ヘ思フ、サウ云フ立テ方ニ於テ御眺メニナラヌト云フト、馬ノ能力検定上、即チ馬ヲ競ハセルト云フ事ソレ自身ガ非常ニ大切ナコトデアルト云フ觀念ガ餘程薄弱ニナルノデアリスカラ、此ノ點ヘ餘程御考慮が必要デアリマス、其ノ意味カラ日本ノ競馬界ノ前途ト云フコト御考ニナル必要ガアラウト思ヒマス、日本競馬會ト云フモノヲ作ッテ見テ、茲ニ既設ノ何カ競馬ノ俱樂部ノ綜合的ナモノガ出來ルノデアリマスナラバ、是ハ唯綜合シタト云フダケノ意味デアッテ、機關ノ整備ニハナツタカモ知レマセヌケレドモ、ト思フ、出來テナイト思フ、今言ツタヤウニ物的設備ヲ政府ニ移シテ、サウシテ堅實ニ競馬其ノモノヲ行フト云フコトニナラナイト云フト、茲ニ十分ナ施設が出來ナイノデ

アル、ソレヘ能力検定ノ中ニ、乗馬ノ方面ノ能力検定ヘ、駆足競走デヤル譯デアリマスケレドモ、重量輓馬ガ今度國防上必要デアルト云フコトニナツテ居ル、其ノ輓馬ト云モノノ能力ヲ検定シテ、眞面目ナ繫駕競走ヲヤラナケレバナラス、今日唯小サイ輕イ車ヲ付ケテ走ラセテ見タ所ガ、本當ノ能力ノ検定ニハナツテ居ナイ、折角歩ノ足並ヲヤツテ居ルト、途中デ駆足ラヤル、サウ云フモノハ眞面目ナ競争デナイト思フ、サウ云フコトノ爲ニハ眞面目ナル速歩競走、即チ速歩能力ノ検定ヲヤルト云フコトニアルナラバ、検定ノ設備ト云フモノナリ物的設備ヲ、別ニ政府ガ考ヘナケレバナラス、現在ノ競馬ノヤリ方ハ全然違ヒマス、ソンナヤリマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事柄ハ承ツテ置ク程度ニ於キマシテハ非常ニテ認メテ居ル所デアリマシテ、實ヲ申シマスレバ、或ハ競馬カラ得ル收入ノ全部若シスレバ、幾ラカ勝馬投票券ニ對スル言譯ニモナクヘ半額以上ヲ社會事業ニ費シテ戴ケバ、幾ラカ勝馬投票券ニ對スル言譯ニモナクヘ半額以上ヲ社會事業ニ費シテ戴ケルノダト考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ根本觀念カラ、成ルベク競馬ニ依ル收入ハ多ク社會ノ貧困者ヲ救フ爲ノ、或ハ救護法實施其ノ他ノ社會事業ノ費用ニ使ツテ戴キタイト云フ根本觀念ガアルノデアリマス、併シナガラ色々質問應答ノ結果ニ依ルト、現在ニ於キマシテハ、如何ニ競馬ノ收入ガ殖エマシテモ百萬圓限度シカ支出ニナツテ居リマセヌノデ、其ノ點ヘ甚ダ遺憾デアリマシテ、將來ニ考ヘルベキ問題デアルト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、今回政府ノ納付金ヲ百分ノ六カラ百分ノ八ニ御增加ニナリマシテ、收入ガ殖エマシテモ、

○松村眞一郎君 御答辯ヲ別ニ求メタ譯デヤアリマセヌカラ、若シサウ云フ考ヘ方ハ不都合デアルト云フノデアリマスレバ、サウ言ツテ戴キマセヌト……私ハ競馬ニ要望スル所ハサウ云フコトヲ要望シテ居ルノデアリマス

○國務大臣(島田俊雄君) 不幸ニシテ私ハ、此ノ競馬ニ付テ只今松村サンノ御話ニヤツテ居ルト、途中デ駆足ラヤル、サウ云フモノハ眞面目ナ競争デナイト思フ、サウ云フコトノ爲ニハ眞面目ナル速歩競走、即チ速歩能力ノ検定ヲヤルト云フコトニアルナラバ、検定ノ設備ト云フモノナリ物的設備ヲ、別ニ政府ガ考ヘナケレバナラス、現在ノ競馬ノヤリ方ハ全然違ヒマス、ソンナヤリマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事柄ハ承ツテ置ク程度ニ於キマシテハ非常ニテ認メテ居ル所デアリマシテ、實ヲ申シマスレバ、或ハ競馬カラ得ル收入ノ全部若シスレバ、幾ラカ勝馬投票券ニ對スル言譯ニモナクヘ半額以上ヲ社會事業ニ費シテ戴ケルノダト考ヘテ居ルノデアリマシテ、其ノ根本觀念カラ、成ルベク競馬ニ依ル收入ハ多ク社會ノ貧困者ヲ救フ爲ノ、或ハ救護法實施其ノ他ノ社會事業ノ費用ニ使ツテ戴キタイト云フ根本觀念ガアルノデアリマス、併シナガラ色々質問應答ノ結果ニ依ルト、現在ニ於キマシテハ、如何ニ競馬ノ收入ガ殖エマシテモ百萬圓限度シカ支出ニナツテ居リマセヌノデ、其ノ點ヘ甚ダ遺憾デアリマシテ、將來ニ考ヘルベキ問題デアルト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、今回政府ノ納付金ヲ百分ノ六カラ百分ノ八ニ御增加ニナリマシテ、收入ガ殖エマシテモ、

○委員長(子爵會我祐邦君) 外ニ御質問ハゴザイマセヌカ……ソレデヘ討論ニ入リタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ  
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○委員長(子爵會我祐邦君) 討論ニ入リマス

○丸山鶴吉君 私ヘ本會議デモ質問ヲ申上

ゲマシタシ、本委員會デモ質問ヲ申上ゲマ

シテモウ少シ力ヲ入レテ戴キタイト思フ、

何カ之ニ付テ御意見ガアレバ承ツテ見タイ

アリマスケレドモ、今回ノ改正法律案中ノ

第八條第一項中「百分ノ六以内」ヲ「百分ノ八以内」ニ、同條第二項中「前項」ヲ「前二項」

ニ、同條第三項中「第一項」ヲ「第一項及第

二項」ニ、其ノ次ニアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ

ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト

思フノデアリマス、是ハ屢々申上ダタ通り

デアリマシテ、競馬收入ヲ社會事業方面ニ

支出致シマスコトハ、歐米各國ノ通念トシ

程、競馬ノコトニ付キマシテマダ造詣ガア

リマセヌノデ……併シ御話ニナリマシタ事

ニ致シマシテ研究致スコトニ致シマス

二項」ニ改メ、トアリマス「三分ノ二」ヲ

「四分ノ三」ニ改メ、トアリマスガ、是ダケ  
ヲ削除致シタイト云フ意見ヲ申上ダタイト  
思フノ内ニ、同條第二項中「前項」ヲ「前二項」  
ニ、同條第三項中「第一項」ヲ「第一項及第  
二項」ニ、其ノ次ニアリマス「三分ノ二」ヲ  
アルト云フコトニナツテ居ル、其ノ輓馬ト云  
モノノ能力ヲ検定シテ、眞面目ナ繫駕競走  
ヲヤラナケレバナラス、今日唯小サイ軽イ  
車ヲ付ケテ走ラセテ見タ所ガ、本當ノ能力  
ノ検定ニハナツテ居ナイ、折角歩ノ足並ヲ

ヤツテ居ルト、途中デ駆足ラヤル、サウ云フ  
モノハ眞面目ナ競争デナイト思フ、サウ云

社會事業ニ行ク金ハ百萬圓以上ヲ出デナイ  
ノデアリマス、此ノ三分ノ二ヲ四分ノ三ニ  
御修正ニナラナイデモ、何等馬匹改良、馬  
事思想ノ普及ノ方面ニハ差支ナイノデアリ  
マス、然ルニ此ノ改正ヲ行ハレマス結果ハ  
ドウナリマスカト言ヒマスト、國家ノ法律  
トシテ出マス上ニ、今迄ハ三分ノ一以下ヲ  
社會事業ニ認メラレテ居ツタモノヲ、此ノ改  
正ノ機會ニソレガ四分ノ一以下ニ率ヲ減ラ  
サレルノデアル、斯ウ云フ觀念ハ、マア注  
意ヲ致シテ居リマセヌ一般大衆ハ存ジマセ  
ヌケレドモ、苟モ社會事業ニ從事シテ居ル  
人ハ、ソレカラ又平素カラ殆ド俸給モ貰ハ  
ズ獻身的ニ救護法實施ノ方面ノ第一線ニ立ッ  
テ細民救助ヲヤッテ居ル四萬三千ニ亘リマ  
ス方面委員諸君ニ於キマシテハ、此ノ法文ノ  
上ニ現ヘセマスル如何ニモ社會事業ニ……  
此ノ改正ノ際ニ比率ヲ下ダ行カレルノダ、  
社會事業ニ費サレル金ノ比率ガ下ダレル  
ノダト云フコトハ、可ナリ影響ヲ及ボスノ  
デアリマス、殊ニ現内閣ノ政策カラ申シマ  
シテモ、此ノ時代ノ有様カラ申シマシテモ、  
ソンナコトハ極メテ愚ナコトデアル、ソレ  
ガ何等カ實現ニ重大ナル影響ヲ及ボスコト  
デアルナラバ、政府トシテヘドコ迄モ此ノ  
主張ヲ貫徹サレルコトガ必要デアルト思フ

ノデアリマスケレドモ、實質ニ何等關係ハ  
無イ、現ニ現在ノ規定デモ其ノコトハ事實  
ハ行ヘレテ居ラナイノデアリマス、百萬圓  
シカ出ナイノデアリマス、殊ニ内務當局ノ  
御答辯ヲ承リマシテモ、未ダ曾テ競馬法ノ  
方カラ餘計出シテ貰フト云フコトヲ交渉シ  
タコトハナイ、救護法ノ實施ハ、財源ニ困  
テ居ルガ、外ノ方ノ財源デ銳意ヤリ上ゲル  
積リダト云フコトデアリマスレバ、實質上  
ニ何等障碍ナイコトデアリマスカラ、茲ニ  
如何ニモ社會事業ノ方面ノ比率ヲ下ダクト  
云フコトヲ法文ノ上デ示サレルト云フコト  
ハ、如何ニモ遺憾ニ思ヒマスカラ、此ノ「三  
分ノ二ヲ四分ノ三」ト云フ十字ヲ削除スル  
意見ヲ提出致シタイト思フノデアリマス  
○子爵西尾忠方君 私、原案ニ賛成ノ意見  
ヲ申上ゲテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵會我祐邦君) チヨット其ノ  
前ニ、丸山君ノハ修正ノ動議デスカ、只今  
ノダト云フコトハ、可ナリ影響ヲ及ボスノ  
デアリマス、殊ニ現内閣ノ政策カラ申シマ  
シテモ、此ノ時代ノ有様カラ申シマシテモ、  
ソンナコトハ極メテ愚ナコトデアル、ソレ  
ガ何等カ實現ニ重大ナル影響ヲ及ボスコト  
デアルナラバ、政府トシテヘドコ迄モ此ノ  
主張ヲ貫徹サレルコトガ必要デアルト思フ

○委員長(子爵會我祐邦君) 只今丸山君カ  
テ皆様御聽キノ通リニ、「三分ノ二ヲ四分ノ  
三ニ」ト云フ此ノ十字ヲ削除シタイト云フ修  
正意見ガ出マシタ、丸山君ノ修正御意見ニ  
對シマシテハ、御賛成ガナイヤウデゴザイ  
マスカラ、其ノ動議ハ成立致シマセヌ

○子爵西尾忠方君 只今社會事業ニ非常ニ  
熱心ナル丸山君カラシテ御修正ノ動議が出  
マシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ、先刻農林  
大臣カラ色々御話ガゴザイマシタノデ、餘  
リ申上ゲル必要モナイト思ヒマス、又以前  
ニ此ノ改正ガ行ヘレマシタ時ニ、社會施設  
ニ三分ノ二ヲ提供スルト云フ案ニ付キマシ  
テハ、當時私モ委員トシマシテ、喜ンデソ  
レニ賛成シタノデアリマシテ、其ノ内容ニ  
述ベニナリマスルト、如何ニモ今回ノ改正  
ガ社會施設ヲ度外視シテ居ルヤウニ却ツテ  
響キマシテ、其ノ點ヲ甚ダ遺憾ニ思フノデ

○委員長(子爵會我祐邦君) 他ニ御議論ガ  
ナイト思ヒマスノデ、是カラ採決ニ入りタ  
イト思ヒマス、政府提出ノ競馬法中改正法  
案ト云フ名稱其ノモノヲ含メマシテ、原  
案通り御異存ゴザイマセヌカ

○風間八左衛門君 原案ニ賛成致シマス  
此ノ改正ガ行ヘレマシタ時ニ、社會施設  
ニ三分ノ二ヲ提供スルト云フ案ニ付キマシ  
テハ、當時私モ委員トシマシテ、喜ンデソ  
レニ賛成シタノデアリマシテ、其ノ内容ニ  
述ベニナリマスルト、如何ニモ今回ノ改正  
ガ社會施設ヲ度外視シテ居ルヤウニ却ツテ  
響キマシテ、其ノ點ヲ甚ダ遺憾ニ思フノデ

○委員長(子爵會我祐邦君) 他ニ御議論ガ  
ナイト思ヒマスノデ、是カラ採決ニ入りタ  
イト思ヒマス、政府提出ノ競馬法中改正法  
案ト云フ名稱其ノモノヲ含メマシテ、原  
案通り御異存ゴザイマセヌカ

○風間八左衛門君 原案ニ賛成致シマス  
此ノ改正ガ行ヘレマシタ時ニ、社會施設  
ニ三分ノ二ヲ提供スルト云フ案ニ付キマシ  
テハ、當時私モ委員トシマシテ、喜ンデソ  
レニ賛成シタノデアリマシテ、其ノ内容ニ  
述ベニナリマスルト、如何ニモ今回ノ改正  
ガ社會施設ヲ度外視シテ居ルヤウニ却ツテ  
響キマシテ、其ノ點ヲ甚ダ遺憾ニ思フノデ

○委員長(子爵會我祐邦君) 御異存ナイモ  
ノト認メマス

○丸山鶴吉君 サウ決定ニナリマシタカラ、  
最後ニ委員長ニ御希望ヲ申上ゲテ置キタイ  
ト思ヒマス、色々私長イ時間ヲ頂戴シマシ  
テ意見ヲ述ベマシタノモ、ドウカシテ社會  
事業ニ從事シテ居ル人達ニ惡イ感ジヲ與ヘ  
ナイト云フコトヲ希望致シマシタ結果デア  
リマスカラシテ、一面競馬施設其ノモノノ  
改善刷新デアリマスガ、他面極東ノ國際情  
勢ノ變化ニ伴ヒマシテ、大陸政策ノ樹立、  
委員ノ御列席ヲ願ツテ、救護事業等ニ付テ  
ハ、更ニ外ニ財源ヲ求メテ徹底的ニヤッテ

貰ヘルカト云フコトヲ念ヲ押シテ、私質問

委員

侯爵德川 賴貞君

賴貞君

ドウカ委員長ガ御報告ナサイマス際ニ於キ

マシテモ、委員會ノ中デサウ云フ議論ガアツ

テ、内務當局へ救護法實施等ニ付テハ何カ他

ニ財源ヲ求メテ將來トモ大ニ努力スル積リ

外 本年ハ追加豫算ニ五十萬圓増加シ外ガ

夏ニ牋外ニ持外シサリ云ニ表ニ持外ルト云フコトヲ茲ニ表明セラレタ「トヲ、

同時ニ御報告ヲ願ヘマスレバ大變仕合セデ

○委員長（子爵曾我祐邦君）承知致シマシ

タ、委員長ト致シマシテハ成ルベク詳細ニ御

報告スル積リデアリマス、併シ速記モ出來

テ居ラヌコトデアリマセウシ、或ハ丸山サ

シノ仰セラレマシタコトヲ全部申上ゲルコ

トハ出來ナイカモ知レマセヌガ、只今仰セ

ラレタコトデ、報告ノ中ニ入レルベキ大ナ

ル骨子ニ付キマシテハ誤リナイ積リデアリ

マスカラ御安心ヲ願ヒマス、之ヲ以テ委員

會ハ散會致シマス

午後四時五十五分散會

委員長  
副委員長  
子爵曾我  
男爵關  
祐邦君  
義壽君

第四部第二類 競馬法中改正法律案特別委員會議事速記錄第一號 昭和十二年

貴族院

昭和十一年五月二十五日印刷

昭和十一年五月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局